

地域で学ぶ 日本語学習教材

話して 書いて 伝え合う 私のこと・あなたのこと



大阪府教育庁

はじめに

地域の識字・日本語教室では、さまざまな目的をもった方々が、地域社会の中で自立して生活するために、年齢、職業、母語や文化などさまざまな違いを超えて、お互いの文化や生き立ちを理解し合い、助け合いながら、文字の読み書きや日常の会話の学習に取り組まれています。

そのような地域の識字・日本語教室を担っている多くの方は日本語教育の専門家ではなく、市民ボランティアとしての学習支援者であり、学習者に寄り添い、学習者の興味や関心のあることからや、日常生活での疑問などを題材に取り入れ、学習者のニーズに合わせた学習活動を行っています。

平成29年度の調査では、大阪府内の約200の教室で、約5,200人の学習者が約2,900人の学習支援者とともに学習活動を行っていますが、教室からは、「学習者の増加に対し学習支援者が不足している」や「個々の学習者に適した教材が不足している」といった意見がありました。

大阪府では、こうした状況において、地域の識字・日本語教室の一助となるよう、国、市町村及び関係機関と連携を深めて教材の開発・提供、学習支援者の養成などに取り組んでおり、令和元年度には、初級学習者向けの日本語学習教材として、『きいてまねしてはなして－「わたしたちが語る」20のエピソード－』を作成いたしました。そして今回、聞く、話す、読む、書くといった活動を通じて、「自分」・「生活」・「文化」・「地域」について、わかりやすく伝えることをめざす中級学習者向けの教材を作成いたしました。

『きいてまねしてはなして－「わたしたちが語る」20のエピソード－』と同様に、多くの方が学ばれている府内の識字・日本語教室でこの教材が活用され、学習者と学習支援者がともに学びを深められることを期待しています。

最後になりましたが、この教材作成にご協力をいただきました皆さまに改めてお礼を申し上げます。

令和3年3月

おおさか ふ きょういく ちやう
大阪府教育庁
し ちやうそん きょういく しつ
市町村教育室
ち い きょういく しんこう か ちやう
地域教育振興課長

ち い き ま な に ほ ん ご が く し ゅ う き ょ う ざ い
地域で学ぶ 日本語学習教材
 は な か つ た あ わ た し
話して書いて伝え合う 私のこと・あなたのこと

も く じ
目次

はじめに	1
この教材 <small>きょうざい</small> を使って <small>つか</small> くださる教室 <small>きょうしつ</small> 運営者 <small>えいしや</small> 及び学習 <small>がくしゅう</small> 支援者 <small>しえんしや</small> の皆さま <small>みな</small> へ	3
この教材 <small>きょうざい</small> に出 <small>で</small> てくる人 <small>ひと</small>	11
第1課 <small>だい 1 か</small> 名前 <small>なまえ</small>	13
第2課 <small>だい 2 か</small> 日本語 <small>にほんご</small> の学習 <small>がくしゅう</small>	17
第3課 <small>だい 3 か</small> 大切な人 <small>たいせつ ひと</small>	21
第4課 <small>だい 4 か</small> ほっと一息 <small>ひといき</small>	25
第5課 <small>だい 5 か</small> 気づいたこと <small>き</small> ・驚いたこと <small>おどろ</small>	29
第6課 <small>だい 6 か</small> 災害 <small>さいがい</small>	33
第7課 <small>だい 7 か</small> SNS (ソーシャル・ネットワーキング・サービス)	37
第8課 <small>だい 8 か</small> 自慢 <small>じまん</small> の料理 <small>りょうり</small>	41
第9課 <small>だい 9 か</small> ふるさと大阪 <small>おおさか</small>	45
第10課 <small>だい 10 か</small> 旅行 <small>りょこう</small>	49
第11課 <small>だい 11 か</small> 人 <small>ひと</small> との付き合い <small>つきあい</small>	53
第12課 <small>だい 12 か</small> 健康 <small>けんこう</small>	57
第13課 <small>だい 13 か</small> お祭り <small>まつり</small>	61
第14課 <small>だい 14 か</small> ボランティア活動 <small>かつどう</small>	65
第15課 <small>だい 15 か</small> 大人 <small>おとな</small> の夢 <small>ゆめ</small>	69
[付録 <small>ふろく</small>]	73
〈話 <small>はな</small> してみよう〉漢字 <small>かんじ</small> かな交 <small>ま</small> じり文 <small>ぶん</small> (ふりがなし)	74
〈読 <small>よ</small> んでみよう〉漢字 <small>かんじ</small> かな交 <small>ま</small> じり文 <small>ぶん</small>	89
学習項目 <small>がくしゅうこうもく</small> 一覧 <small>いちらん</small>	89
各課 <small>かくか</small> の解説 <small>かいせつ</small> ・動詞 <small>どうし</small> の形 <small>かたち</small> ・丁寧形 <small>ていねいけい</small> と普通形 <small>ふつうけい</small>	92
索引 <small>さくいん</small>	113

この教材を使ってくださる教室運営者及び学習支援者の皆さまへ

1. この教材について

この教材は主に、識字・日本語教室で学ぶ日本語学習者（学習者）に使っていただくことを想定しています。

日本語の基本的な学習を終えた人が、学習をさらに一歩進めることができるよう、次のように考えてこの教材を作りました。

(1) 学習の目標

この教材では、学習者と支援者が身近な話題に対する自分の経験や状況、および感想や意見を「話す」「書く」の表現活動を通して、伝え合うことをめざしています。

- ①「自分のこと」「生活のこと」「文化のこと」「地域のこと」について、相手にわかりやすく伝えることができる。
- ②自分に合った学習のしかたを考え、自ら学習を進めることができる。

中級前半（日本語能力試験：N3、CEFR：B1）程度の学習内容となっています。

(2) 学習時間

1 課を学習する時間は 4 時間程度（識字・日本語教室が週 1 回 2 時間程度と想定した 2 週間分）を考えていますが、学習者のペースに合わせて、早く進めたり、ゆっくり丁寧に進めたり、調整していただくとよいでしょう。

(3) 教材の構成

全 15 課と付録（「〈話してみよう〉漢字かな交じり文（ふりがななし）」「〈読んでもみよう〉漢字かな交じり文」「学習項目一覧」「各課の解説」「索引」）で構成されています。

(4) 漢字の学習

各課は、常用漢字を使用した漢字かな交じり文に、ふりがなをつけて書かれています。ふりがなが必要のない学習者には、付録にふりがなのない「〈話してみよう〉漢字かな交じり文（ふりがななし）」がありますので、それを読んで練習するといいいでしょう。

また、漢字学習を丁寧に進めたい学習者には、〈読んでもみよう〉のひらがな文を使い、内容を理解した後で、漢字かな交じり文に書き直す練習をしてもらいましょう。学習者に合わせて、少しずつ新しい漢字を紹介し、書ける漢字を増やしましょう。付録に「〈読んでもみよう〉漢字かな交じり文」がありますので、確認ができます。

2. この教材の特長について

(1) 対話型の学習

日本語の学習者と支援者がともに理解し合い、関係を深めながら学習できるよう、対話の活動を中心としています。

(2) 話題中心の学習

「自分のこと」「生活のこと」「文化のこと」「地域のこと」に関する身近な話題を選び、それぞれの課を作りました。

(3) 初級から中級への橋渡し

初級の学習を終えた学習者が中級に進むには、以下のことが大切です。

- ・「読む」「書く」の基本的な力を身につけること
- ・話すときと書くときの文の違いを理解すること
- ・単語や短い決まったフレーズでやり取りするのではなく、やや複雑な文やまとまった内容を持つ短い段落でやり取りできるようにすること

各課の練習は、これらの点を考えて作りました。

(4) 学習のしかたをわかりやすく

中級以降に学習を進めるためには「読む」「書く」を含め、学習者が自ら学習を進めることが大切です。学習のしかたをわかりやすく示すことで、自主的な学習を促すことにつながります。そこで、この教材では、忙しく時間のない学習者にも、効率よく効果的に学んでもらえるよう、各課を構成しました。

3. 各課の練習のねらい

この教材は、「話す」「書く」という表現活動を通して学習者と支援者がともに身近な話題に関して、考えを伝え合い、学び合うことをめざしています。

この教材を使う際に、学習者には学習用のノートを作ってもらうことを勧めてください。そこには学習の進み具合が記録され、学習者と支援者の間でいつでも確認ができます。

次のような構成で、1課が作られています。

(1) 各課のテーマと〈この課で伝え合うこと〉

だい か なまえ 第1課 名前
〈この課で伝え合うこと〉 なまえ どのな いみ があるか、だれ につけてもらったかなど、じぶん のなまえ について せつめい 説明……

各課の学習目標を表しています。課の学習に入る前に、学習者と確認しましょう。

(2) 〈新しい言葉を調べよう〉

あたらし ことば しら 〈新しい言葉を調べよう〉			
ことば いみ しら ☆言葉の意味を調べて、書きましょう。			
	あたらし ことば 新しい言葉	かんじ 漢字	いみ 意味
1	なまえ (名前を)つける		
2	~について		

その課で新しく出る言葉が本編(各課のテーマ・〈この課で伝え合うこと〉・〈考えてみよう〉・〈話してみよう〉・〈読んでみよう〉・〈使ってみよう〉・〈インタビューしよう〉)から掲載順に並べられています。

新しい言葉として選んだのは、令和元年度に作成した『きいて まねして はなしてー「わたしたちが語る」20のエピソードー』で扱われた語、および初級の基本的な語(日本語能力試験のN5相当の語)を除いた語です。「きれいな」「静かな」といった「な」がつく形容詞は「(な)」、動詞の用法がある名詞は「(する)」と表示しました。また、擬音語はカタカナで、擬態語はひらがなで書いてあります。

1～5課は、表に20前後の語を示しています。中級以降は、初級と比べて、学習語彙の抽象度が増します。本編に入る前に学習者が母語で意味を調べておくと、本編の内容から学習を始めることができるので、関連する語や話題に学習を広げることができます。あらかじめ意味を調べておくことが難しい場合は、本編で新しい言葉の意味を確認しながら学習することもできます。

6課以降には表はなく、30前後の語が示されています。1～5課の表を参考に、学習ノートに新しい言葉と意味を書いてもらいましょう。

つぎ　ことば　つか　ぶん　つく
☆次の言葉を使って、文を作りましょう。

- 1.ドキドキ(する) _____
- 2.にこにこ(する) _____
- 3.仲良く _____

〈新しい言葉を調べよう〉の後に、1～3の言葉を使って文を作る練習があります。生活の中でよく使われる擬音語・擬態語(オノマトペ)や、意味や使い方がわかりづらい副詞、1つで複数の意味がある多義語などを取り上げました。学習者が作った文がより適切になるようにしましょう。

(3) 〈考えてみよう〉

かんが
〈考えてみよう〉

1. 日本にほんで一番いちばん多いおお姓せいは何だおもいますか。
2. 日本にほんのひとの名なまえで、どんななまえしを知っていますか。
3. 好きなすなまえがありますか。それはどんななまえですか。

この課のテーマについて話題のきっかけづくりとなる質問が3つあります。

話題について、〈考えてみよう〉・〈話してみよう〉・〈読んでみよう〉・〈インタビューをしよう〉・〈書いてみよう〉と段階を追って、学習者の考えを深めてもらうために、ここではまず、学習者自身の経験や考えを質問して、自分とのかかわりをとらえてもらいます。

学習の動機づけにもなりますので、学習者と話題、学習者と支援者自身の接点が得られるよう、3つの質問に限らず様々な角度から自由に話題を広げ、楽しく話しましょう。

(4) 〈話してみよう〉

はな
〈話してみよう〉
つぎ かいわ こえ だ なんど れんしゅう
☆次の会話を声に出して、何度も練習しましょう。

たなか たなか たなかまこと い ねが
田中:はじめまして。田中です。田中真と言います。よろしくお願ひします。

ねが
ラビン:はじめまして。ラビンドラ・マハルジャンです。よろしくお願ひします。

たなか
田中:ラビンドラ・マハルジャンさんですか。どこから来(き)ましたか。

〈話してみよう〉の目的は2つあります。

○〈読んでみよう〉の見通しを持つ

〈話してみよう〉と〈読んでみよう〉の内容は、ほぼ同じ内容です。長い文章の読み取りは、学習者にとって難易度が高いものとなります。まず、対話の形(音声のやり取り)で文を読む(内容把握を行う)ことで〈読んでみよう〉の内容把握につなげます。

○対話の練習を行うことで、自然な話し方を身につける

発音やイントネーションに気をつけ、なめらかに言えるようになるまで練習することで、自然な話し方を身につけます。また、くだけた言い方や省略、倒置など、話し言葉としてよく耳にする表現を確認します。

学習者とともに対話の文を音読し、ロールプレイをします。〈話してみよう〉では、できるだけ自然な場面を再現するようにしました。発音や文末のイントネーションを確かめながら、声に出して、役割を入れ替えたりして何度も練習しましょう。学習者に合わせて文末を適切な形に変えたり、「です・ます」を使わない普通形や地域の言葉でロールプレイを行ってもいいでしょう。

かいわ あ ぶん あ ぶん か
☆会話と合っている文に○、合っていない文に×を書きましょう。

1. () たなか と ラビンさんははじめてあいました。

2. () ラビンさんはネパールのひとです。

3. () 「姓」は、家族の名前です。

4. () 日本(にほん)の名前(なまえ)とネパール(ネパール)の名前(なまえ)は、順番(じゅんばん)が同じ(おな)です。

5. () ラビンさんの姓(せい)は、ラビンドラです。

ロールプレイが終わったら、文の内容を確認します。場面や登場人物、話題などについて、正誤問題(○×)を行って、文の内容を確認します。ここでは特に、語句や文法の確認は行いませんが、必要な場合は適宜行ってください。

(5) 〈読んでみよう〉

〈読んでみよう〉

☆次の文を読んで、質問に答えましょう。

ラビンドラ・マハルジャンさんは、1ねんまえにネパールのカトマンズからおおさかへきました。いま、ネパールりょうりのレストランでりょうりをつくっています。ときどきことばがわからなくて、こまることがあるので、にほんごきょうしつでべんきょうすることにしました。

〈話してみよう〉のやり取りを説明した文です。内容はほぼ同じですが、対話の場面・状況をより明確に説明するため、対話場面のやり取りでは表現されていない、背景についての情報が盛り込まれていることもあります。点線内の文は漢字を使わずに書かれています。

まず音読し、意味を考え、内容を問う質問に答えます。そして、知っている漢字を使って、ひらがな文を漢字かな交じり文に変換します。これは学習ノートに書き込んでもらうといいでしょう。

漢字で書けない部分は学習の進捗に応じて新しい漢字として紹介していただき、少しずつ漢字で書ける部分を増やしてもらうといいでしょう。

ひらがな文を読むのに慣れないうちは、「語+助詞」の単位を斜線で区切るなど、区切り方を示しながら練習するといいでしょう。

例 ネパールりょうりの/レストランで/りょうりを/つくって/います/

(6) 〈使ってみよう〉

〈使ってみよう〉

☆例を見て、文を作りましょう。

1. ~ばいい

例 A: 友達の家へ行くとき、何を持って行けばいいですか。

B: おかしを持って行けばいいと思います。

A: さいふをなくしたとき、_____ ばいいですか。

B: _____ ばいいと思います。

日常的な会話の中で便利に使われる表現や、書くときに使われる表現を各課に3つずつ取り上げて、文を作る練習をします。学習者が作った文がより適切な文となるようにしましょう。

(7) 〈インタビューしよう〉

〈インタビューしよう〉

☆^{ともだち}友達や^{まわ}周りの^{ひと}の人にインタビューしましょう。4と5は、^{しつもん}質問を^{かんが}えましょう。

1. ^{じぶん}自分の^{なまえ}名前をつけた^{ひと}人を知っていますか。
2. _____ ^{なまえ}さんの^{なまえ}名前はどんな^{いみ}意味ですか。
3. ^{じぶん}自分の^{なまえ}名前が^す好きですか。
- 4.
- 5.

支援者や教室でともに学ぶ人、家族や友人、職場の同僚など身近な人にインタビューをします。

学習者の中には普段質問されることがあっても、自分から質問をする機会は少ないという人もいるので、各課の話題に関連した質問を考えるのは難しい場合があります。慣れないうちは、1～5番の質問がそれぞれ関連を持たず、一問一答になってもかまいませんが、できれば、テーマ性を持って、個々の質問が関連づけられ、話題がより深まるようなインタビューができるといいでしょう。

また、役割を交替し、学習者も自分が考えた質問を受ける側になって、考えを述べる練習をするといいでしょう。

(8) 〈書いてみよう〉

〈書いてみよう〉

☆質問の答えをまとめて、300字ぐらいの文を書きましょう。

インタビュー活動の結果を文にまとめる練習です。1～5番の質問を一問一答の形で書くのではなく、文章にします。接続詞や「これ」「それ」「あれ」などの指示語が効果的に使えるようになるといいでしょう。学習ノートに書いてもらい、学習者が作った文がより適切な文となるようにしましょう。まとめることが難しい場合は、自分自身の考えを作文の形で書いてもらってもいいでしょう。

この教材きょうざいに
出てくる人ひと

アントレムブレイさん
Anne Trembley
カナダ
がくしゅうしゃ
学習者



キム ヒョンジュさん
金 賢珠
がくしゅうしえんしゃ
学習支援者



たなか まことさん
田中 真
がくしゅうしえんしゃ
学習支援者



タン ヴァンレさん
Tăng Van Lê
ベトナム
がくしゅうしゃ
学習者



リタ サントスさん
Rita Santos
フィリピン
がくしゅうしゃ
学習者



サリム ハンドヨさん
Salim Handoyo
インドネシア
がくしゅうしゃ
学習者



やまもと ゆうこさん
山本 優子
がくしゅうしえんしゃ
学習支援者



ラビンドラ マハルジャンさん
Rabindra Maharjan
ネパール
がくしゅうしゃ
学習者



だい か なまえ
第1課 名前

〈この課で伝え合うこと〉

なまえにどんな意味があるか、誰につけてもらったかなど、自分の名前について説明しましょう。

〈新しい言葉を調べよう〉

☆言葉の意味を調べて、書きましょう。

	あたらしことば 新しい言葉	かんじ 漢字	いみ 意味
1	(なまえ)をつける		
2	~について		
3	せつめい(する)	説明	
4	せい	姓	
5	めい	名	
6	じゅんばん	順番	
7	ぎやく	逆	
8	しんじつ	真実	
9	(しんじつ)という(いみ)		
10	うそ		
11	なるほど		
12	さいしょ	最初	
13	きんちょう(する)	緊張	
14	ドキドキ(する)		
15	あいさつ(する)		
16	にこにこ(する)		
17	(よ)かた	呼び方	
18	たずねる	尋ねる	
19	なかよく	仲良く	

☆次の言葉を使って、文を作りましょう。

- 1.ドキドキ(する) _____
- 2.にこにこ(する) _____
- 3.仲良く _____

〈考えてみよう〉

- 1.日本で一番多い姓は何だと思いますか。
- 2.日本の人の名前で、どんな名前を知っていますか。
- 3.好きな名前がありますか。それはどんな名前ですか。



〈話してみよう〉

☆次の会話を声に出して、何度も練習しましょう。

- 田中 : はじめまして。田中です。田中真と言います。よろしく願います。
- ラビン : はじめまして。ラビンドラ・マハルジャンです。よろしく願います。
- 田中 : ラビンドラ・マハルジャンさんですか。どこから来ましたか。
- ラビン : あ、ネパールです。ネパールのカトマンズから来ました。
- 田中 : ネパールですか。お名前は何か呼ばいいですか。
- ラビン : 「ラビン」と呼んでください。「ラビン」が自分の名前、で、「マハルジャン」は家族の名前です。
- 田中 : そうですか。ラビンさん、家族の名前は「姓」、自分の名前は「名」と言います。
- ラビン : 姓と名ですか。田中さんは、「田中」が姓ですね。日本の名前は、ネパールの名前と順番が逆ですね。「まこと」はどんな意味ですか。
- 田中 : 「真」は、「真実」という意味ですよ。わかりますか。
- ラビン : しんじつ…、「本当」という意味ですか。
- 田中 : ええ、そうです。「本当のこと、うそじゃない」という意味です。
- ラビン : なるほど。いい名前ですね。

☆会話と合っている文に○、合っていない文に×を書きましょう。

1. () 田中さんとラビンは初めて会いました。
2. () ラビンはネパールの人です。
3. () 「姓」は、家族の名前です。
4. () 日本の名前とネパールの名前は、順番が同じです。
5. () ラビンの姓は、ラビンドラです。

〈読んでみよう〉

☆次の文を読んで、質問に答えましょう。

ラビンドラ・マハルジャンさんは、1ねまえにネパールのカトマンズからおおさかへきました。いま、ネパールリョウリのレストランでリョウリをつくっています。ときどきことがわからなくて、こまることがあるので、にほんごきょうしつでべんきょうすることにしました。

ラビンはにほんごきょうしつで、べんきょうをてつだってくれるたなかまことさんをしょうかいしてもらいました。としがうえのひとだったので、ラビンはさいしょすこしきんちょうして、ドキドキしながら、あいさつをしました。でも、たなかさんはにこにこして、なまえのよびかたをたずねてくれたので、すぐになかよくなりました。

ラビンさんとたなかさんは、ネパールとにほんのなまえのじゅんばんについてはなしました。そして、たなかさんのなまえのいみについてはなしました。「まこと」というなまえは、「しんじつ」といういみです。ラビンはとてもいいなまえだとおもいました。

1. ラビンはどうして日本語教室に来ましたか。
2. 最初に田中さんに会ったとき、ラビンはどんな気持ちでしたか。
3. ラビンさんと田中さんはどんな話をしましたか。

☆漢字を使って、文を書き直しましょう。

〈使ってみよう〉

☆例を見て、文を作りましょう。

1. ~ばいい

例 A: 友達の家へ行くとき、何を持って行けばいいですか。

B: おかしを持って行けばいいと思います。

A: さいふをなくしたとき、_____ ばいいですか。

B: _____ ばいいと思います。

2. ~という意味だ

例 「まこと」は「真実」という意味です。

_____ は _____ という意味です。

3. ~ことにする

例 言葉がわからなくて困ることがあるので、日本語教室へ行くことにしました。

_____ ので、_____ ことにしました。

〈インタビューしよう〉

☆友達や周りの人にインタビューしましょう。4と5は、質問を考えましょう。

1. 自分の名前をつけた人を知っていますか。

2. _____ さんの名前はどんな意味ですか。

3. 自分の名前が好きですか。

4.

5.

〈書いてみよう〉

☆質問の答えをまとめて、300字ぐらいの文を書きましょう。

だい か にほんご がくしゅう
第2課 日本語の学習

〈この課で伝え合うこと〉

どうして日本語を学習しているか、どんなことを学習したいかなど、日本語の学習について相談しましょう。

〈新しい言葉を調べよう〉

☆言葉の意味を調べて、書きましょう。

	あたらしいことば 新しい言葉	かんじ 漢字	いみ 意味
1	がくしゅう(する)	学習	
2	そうだん(する)	相談	
3	ほごしゃ	保護者	
4	めんだん(する)	面談	
5	(お)しらせ	知らせ	
6	めいわく(な)(する)	迷惑	
7	(めいわく)かける		
8	～なんて		
9	PTA		
10	かつどう(する)	活動	
11	さんか(する)	参加	
12	(ほごしゃ)どうし	同士	
13	ペラペラ		
14	～ようになる		
15	かいご(する)	介護	
16	ヘルパー		
17	とくい(な)	得意	
18	すすめる	勧める	
19	きをつける	気をつける	
20	どのように		

☆次の言葉を使って、文を作りましょう。

1. 迷惑(な) (する) _____

2. ペラペラ _____

3. 得意(な) _____

〈考えてみよう〉

1. どんなどき、日本語をよく使いますか。
2. 日本語を学習する時間がありますか。
3. 日本語の学習は楽しいですか。



〈話してみよう〉

☆次の会話を声に出して、何度も練習しましょう。

リタ: キムさん、ちょっと教えてもらいたいんですが、これ…。

キム: はい、何ですか。ああ、学校からね。保護者面談のお知らせですよ。

リタ: ああ、保護者面談…。いつですか。

キム: 来週火曜日です。

リタ: 火曜日か、また夫に行ってもらいます。本当はあまり迷惑かけたくないけど…。

キム: そんな、ご主人は迷惑だなんて思っていませんよ。娘さんのことですからね。

リタ: でも、私は学校のお知らせも読めないし、先生の話も難しくてわからないし…。質問したり、相談したりする人がほかにいませんから、いつも夫に、ね…。

キム: そうですか。それなら、PTAの活動に参加してみたらどうですか。保護者同士、仲良くなれるかもしれませんよ。

リタ: でも、もっと日本語がペラペラになって、漢字も読めるようにならないと…。

キム: 今も上手ですよ。漢字はノートに書いて練習したらいいです。手伝いますよ。

リタ: ありがとうございます。日本語が上手になったら、仕事もしたいんです。

キム: へえ、どんな仕事ですか。

リタ: 介護ヘルパーです。

キム: それはいいですね。漢字の勉強も仕事の役に立ちますね。一緒にがんばりましょう。

☆会話と合っている文に○、合っていない文に×を書きましょう。

1. () リタさんはキムさんに学校からのお知らせを見せました。
2. () リタさんは漢字が得意です。
3. () リタさんは来週の火曜日に娘の学校へ行きます。
4. () リタさんは介護ヘルパーの仕事をしています。
5. () キムさんはリタさんの漢字の勉強を手伝うと言っています。

〈読んでみよう〉

☆次の文を読んで、質問に答えましょう。

リタさんはしょうがくせいのおすすめがいます。しょうがっこうからお知らせをもらいましたが、よくわからなかったので、キムさんにみてもらいました。それは、ほごしゃめんだんのお知らせでした。らいしゅうかようびにがっこうへ行って、せんせいと、おすすめのことをはなします。リタさんはおっとにいてもらうことにしました。にほんごがわからないかもしれないとしんぱいだったからです。

リタさんは、いつもおっとにたのんでしまうので、わるいとおもっています。でも、ほかにそうだんするひとがいません。キムさんはそれをきいて、PTAのかつどうにさんかしてみることをすすめました。でも、リタさんはもっとにほんごがじょうずにならないといけないとこたえました。リタさんはにほんごがペラペラになって、かんじもよめるようになりたいとおもっています。そして、かいごヘルパーのしごとがしたいと言っています。キムさんはリタさんのかんじのべんきょうをてつだおうとおもっています。

1. リタさんは娘の小学校から何をもらいましたか。
2. リタさんはどうして夫に保護者面談に行ってもらうことにしたのですか。
3. リタさんは日本語が上手になったら、何をしたいとおもっていますか。

☆漢字を使って、文を書き直しましょう。

〈使ってみよう〉

☆例を見て、文を作りましょう。

1. ~てもらいたいです

例 A: ちょっと教えてもらいたいです。 B: はい、何ですか。

A: すみません。ちょっと _____ てもらいたいです。

B: はい、 _____。

2. ~たらどうか

例 A: PTAの活動に参加してみたらどうか。 B: そうですね。

A: _____ たらどうか。

B: _____。

3. ~ようになる

例 私 は 漢字が読めるようになりたいです。

私は _____ ようになりたいです。

〈インタビューしよう〉

☆友達や周りの人にインタビューしましょう。4と5は、質問を考えましょう。

1. 日本語を話すとき、どんなことに気が付いたらいいですか。

2. どのように漢字を勉強したらいいですか。

3. 私は _____ たいです。どうすれば、いいですか。

4.

5.

〈書いてみよう〉

☆質問の答えをまとめて、300字ぐらいの文を書きましょう。

だい か たいせつ ひと
第3課 大切な人

〈この課で伝え合うこと〉

家族や友達など、大切な人を紹介しましょう。

〈新しい言葉を調べよう〉

☆言葉の意味を調べて、書きましょう。

	あたらし 新しい言葉	かんじ 漢字	いみ 意味
1	れんらく(する)	連絡	
2	スマホ		
3	くりくり(する)		
4	たのしみ(な)	楽しみ	
5	(~た)ばかり		
6	わらう	笑う	
7	はえる	生える	
8	よちよち		
9	すくすく		
10	そだつ	育つ	
11	はなれる	離れる	
12	くらす	暮らす	
13	さびしい	寂しい	
14	じつは	実は	
15	きまる	決まる	
16	しんこん	新婚	
17	~みたい(な)		
18	アイドル		
19	ドラマ		
20	どんどん		
21	~にとって		
22	したい	親しい	

☆次の言葉を使って、文を作りましょう。

1. 連絡(する) _____
2. 離れる _____
3. どんどん _____

〈考えてみよう〉

1. よく連絡するのは、どんな人ですか。
2. その人とどんな話をしますか。
3. 日本に友達がいますか。



〈話してみよう〉

☆次の会話を声に出して、何度も練習しましょう。

山本 : サリムさん、そのスマホの写真、お子さんですか。

サリム : ええ、そうです。息子です。

山本 : うわあ、かわいい! 目が大きくて、くりくりしていますね。お名前は?

サリム : ジョジョです。私が日本へ来たのは、この子が生まれる前だったんです。

山本 : えっ、そうなんですか。ジョジョくんはいくつですか。

サリム : 1歳8か月です。毎週土曜日、スマホで妻と話しますが、そのとき、この子の顔を見るのが楽しみなんです。生まれたばかりのときは、寝ているだけでしたが、よく笑うようになって、歯も生えてきました。もうよちよち歩くようになったんですよ。

山本 : へえ、元気にすくすく育っていますね。でも、家族とずっと離れて暮らしているなんて、寂しいでしょう。

サリム : 実は、私は日本へ来ることが決まってから結婚したんです。だから、妻とはあまりゆっくり話したことがなくて、どんな話をしたらいいかわからないんです。

山本 : まだ新婚みたいですね。早く一緒に暮らせるようになったらいいですね。

サリム : ええ、早く息子に会いたいです。山本さんのスマホの写真は誰ですか。

山本 : これ? 韓国のアイドルです。今晚も家に帰って、この人のドラマを見ます。

☆会話と合っている文に○、合っていない文に×を書きましょう。

1. () サリムさんは、1週間に1回、妻と息子の顔を見ます。
2. () サリムさんは、息子が生まれた後、日本へ来ました。
3. () サリムさんは、日本へ来ることが決まる前に結婚しました。
4. () サリムさんは、息子に早く会いたいと思っています。
5. () 山本さんは、サリムさんは寂しいだろうと思っています。

〈読んでみよう〉

☆次の文を読んで、質問に答えましょう。

やまもとさんは、サリムさんのスマホのしゃしんがむすこのジョジョくんだとしました。ジョジョくんはいま1さい8かげつで、サリムさんがにほんへきてからうまれました。サリムさんはまだむすこにあったことがないので、つまとスマホではなすとき、かおをみるのをたのしみにしています。うまれたばかりのときは、ねているだけでしたが、よくわらうようになって、はもはえました。そして、もうあるくようになりました。むすこはどんどんおおきくなっています。サリムさんは、はやくむすこあいたいとおもっています。

サリムさんはにほんへくることがきまってからけっこんしたので、つまとはあまりいっしょにさせませんでした。だから、あまりゆっくりはなしたことがなく、どんなはなしをしたらいいかかわからないといっています。やまもとさんは、サリムさんがはやくかぞくといっしょにさせるようになったらいいとおもっています。サリムさんにとっておくさんとむすこさんはとてもたいせつなのだと、やまもとさんはおもいました。

1. サリムさんがまだ息子に会ったことがないのはどうしてですか。
2. サリムさんは、どうして妻とあまりゆっくり話したことがないのですか。
3. 山本さんは、サリムさんにとって大切な人は誰だと思っていますか。

☆漢字を使って、文を書き直しましょう。

〈使ってみよう〉

☆例を見て、文を作りましょう。

1. ~てくる

例 歯が生えてきました。

_____ が _____ ってきました。

2. ~たばかり

例 ジョジョくんは生まれたばかりのときは、寝ているだけでした。

_____ たばかりのときは、_____。

3. ~にとって

例 サリムさんにとって、家族はとても大切です。

_____ にとって、_____ は _____。

〈インタビューしよう〉

☆友達や周りの人にインタビューしましょう。4と5は、質問を考えましょう。

1. _____ さんにとって一番親しい人はどんな人ですか。

2. その人と一緒に何をしますか。

3. その人といるとき、どんな気持ちになりますか。

4.

5.

〈書いてみよう〉

☆質問の答えをまとめて、300字ぐらいの文を書きましょう。

だい か ひといき
第4課 ほっと一息

〈この課で伝え合うこと〉

いそが まいにち なか ひといき じぶん じかん つた あ
忙しい毎日の中で、ほっと一息つく自分だけの時間について伝え合ひましょう。

あたら ことば しら
〈新しい言葉を調べよう〉

ことば い み しら か
☆言葉の意味を調べて、書きましよう。

	あたら ことば 新しい言葉	かんじ 漢字	い み 意味
1	ほっと(する)		
2	ひといき	一息	
3	(ひといき)つく		
4	つい		
5	ふらっと		
6	よる	寄る	
7	しゅうかん	習慣	
8	だいたい		
9	とくに	特に	
10	きめる	決める	
11	~わけではない		
12	~とか		
13	しょうひん	商品	
14	えらぶ	選ぶ	
15	とおり	通り	
16	なんか		
17	におい	匂い	
18	おちつく	落ち着く	
19	(風呂から)あがる	上がる	
20	ぼうっと(する)		
21	~ため		
22	(においを)かぐ	嗅ぐ	

☆次の言葉を使って、文を作りましょう。

1. つい _____
2. 特に _____
3. ぼうっと(する) _____

〈考えてみよう〉

1. 休みの日に何をしますか。
2. 疲れたとき、どんなことをしますか。
3. 一日の中で、何をするときが一番楽しいですか。



〈話してみよう〉

☆次の会話を声に出して、何度も練習しましょう。

タン：ありがとうございます。じゃあ、また来週。

田中：はい、また来週。今日はこれからどこかへ行くんですか。

タン：ええ、ちょっと、コンビニへ…。

田中：コンビニ？ タンさんはよくコンビニへ行きますね。コンビニが好きですか。

タン：まあ、そうですね。ついふらっと寄ってしまいます。仕事の日には夜遅くなるので、家に帰る前に、コンビニに行きます。それで、習慣になってしまって…。

田中：そうですね。仕事が終わった後、晩ご飯を買って帰るんですか。

タン：いいえ、だいたいお菓子や飲み物ですね。特に買う物を決めているわけじゃないんです。コンビニにはいろいろな物が並んでいるから、何を買おうかなとか、これは新しい商品かなとか考えながら、選ぶのが楽しいんです。

田中：なるほど。タンさんにとってコンビニは一日の終わりにほっと一息つける場所なんです。

タン：そうかもしれません。暗い通りでも、コンビニは明るいし、中に入ると、暖かくて、なんかほっとするんです。田中さんはどんなとき、ほっとしますか。

田中：ん、私は本屋にいるときかな…。あの本の匂いが落ち着きますね。

それから、風呂から上がってビールでも飲みながら、ぼうっとテレビを見てるときも、ですね。

☆会話と合っている文に○、合っていない文に×を書きましょう。

1. () タンさんは、この後、まっすぐ家に帰ります。
2. () タンさんの仕事が終わるのは、夜遅い時間です。
3. () タンさんは仕事の後、いつもコンビニで晩ご飯を買います。
4. () タンさんはコンビニへ行くと、ほっとした気持ちになります。
5. () 田中さんは、ビールを飲みながらテレビを見るのが好きです。

〈読んでみよう〉

☆次の文を読んで、質問に答えましょう。

タンさんは、これからコンビニへいこうとおもっています。まいにち、しごとのあとでコンビニへいくので、それがしゅうかんになっているのです。タンさんがよくコンビニへいくのは、ばんごはんをかうためではありません。とくにかうものをきめているわけではなく、あかるいコンビニのみせのなかをあるいて、なにをかおうかなとか、これはあたらしいしょうひんかなとかかんがえながら、えらぶのがたのしいのです。

たなかさんは、タンさんにとって、コンビニはほっとひといきつけるばしょだといいました。タンさんもそうかもしれないとおもいました。タンさんはたなかさんにほっとひといきつけるのはどんなときかとたずねました。たなかさんはほんやにいるときだといいました。ほんのにおいをかくとおちつくからです。それから、ふろからあがってビールをのみながらぼうっとテレビをみるときもほっとするとこたえました。

1. タンさんはコンビニで何をするのが楽しいと言っていますか。
2. タンさんにとってコンビニはどんな場所だと言っていますか。
3. 田中さんがほっと一息つけるのはどんなときですか。

☆漢字を使って、文を書き直しましょう。

〈使ってみよう〉

☆例を見て、文を作りましょう。

1. ~とか、~とか

例 コンビニへ行くと、何を買おうかなとか、これは新しい商品かなとか考え
ます。

_____と、_____とか、_____とかおもいます。

2. ~わけではない

例 特に買いたい物があるから、コンビニに行くわけではない。

_____から、_____わけではない。

3. ~ため

例 私が日本語を学習しているのは、将来自分の店を持つためです。

_____のは_____ためです。

〈インタビューしよう〉

☆友達や周りの人にインタビューしましょう。4と5は、質問を考えましょう。

1. 一週間の中で、何曜日が一番忙しいですか。

2. 一日の中で、ほっと一息つく時間がありますか。

3. それはどんなときですか。

4.

5.

〈書いてみよう〉

☆質問の答えをまとめて、300字ぐらいの文を書きましょう。

第5課 気づいたこと・驚いたこと

〈この課で伝え合うこと〉

日本の生活の中で気づいたことや驚いたことを伝え合ひましょう。

〈新しい言葉を調べよう〉

☆言葉の意味を調べて、書きましょう。

	あたらし 新しい言葉	かんじ 漢字	いみ 意味
1	きづく	気づく	
2	おどろく	驚く	
3	なれる	慣れる	
4	おりる	下りる	
5	たすかる	助かる	
6	やっぱり		
7	(日本)らしい		
8	りょかん	旅館	
9	なま	生	
10	のこす	残す	
11	ゆでる		
12	すごい		
13	サービス		
14	きくばり	気配り	
15	せき	席	
16	ゆずる	譲る	
17	～たびに		
18	かなしい	悲しい	
19	あたりまえ	当たり前	
20	ぺこぺこ(する)		
21	たしかに	確かに	
22	ぶんか	文化	

☆次の言葉を使って、文を作りましょう。

1. 気づく _____
2. 驚く _____
3. ペコペコ(する) _____

〈考えてみよう〉

1. 日本に来たばかりのころ、何か困ったことがありましたか。
2. 日本の生活や習慣について、おもしろいとかどうしてとか思ったことがありますか。
3. もう日本の生活に慣れましたか。

〈話してみよう〉

☆次の会話を声に出して、何度も練習しましょう。



リタ：(エレベーターで)あ、山本さん、早く、早く、お下りますよ。
山本：あ、はい、ちょっとまって。ああ、すみません。助かりました。
リタ：いいえ、どういたしまして。やっぱり山本さんも「すみません」って言うんですね。
山本：え、「すみません」?
リタ：ええ、私だったら、「ありがとうございます」と言います。でも、「助かりました」という言葉は大好きです、日本らしくて。
山本：日本らしい、ですか。
リタ：ええ、いつも人の気持ちを考えているでしょ。私、日本に来たばかりのころ、旅行に行ったんです。旅館で朝ご飯に生の卵が出たので、食わずに残したら、次の朝、私だけゆでた卵が出てきたので、びっくりしました。本当にすごいです。
山本：それは良かったですね。サービスは気配りが大切ですよ。
リタ：そう、それ、気配り。でも、気配りをしすぎるのも良くないなって思うこともあります。
山本：へえ、どんなことですか。
リタ：お年寄りがね、私が席を譲るたびに、「すみません」って…。それを聞くと、ちょっと悲しくなります。私の国では当たり前のことだから、お年寄りも「すみません」なんて言っ、ペコペコしません。だから、「ありがとうございます」でいいと思います。
山本：なるほど。確かに「ありがとうございます」のほうが気持ちがいいですね。

☆会話と合っている文に○、合っていない文に×を書きましょう。

1. () リタさんはエレベーターで山本さんを待ってあげました。
2. () 山本さんはリタさんに「すみません」と言いました。
3. () リタさんは旅行に行って、旅館のサービスが良くないと思いました。
4. () リタさんの国ではお年寄りを大切にします。
5. () リタさんは電車の中でお年寄りに席を譲るとき、「すみません」と言います。

〈読んでみよう〉

☆次の文を読んで、質問に答えましょう。

リタさんは、エレベーターでおりようとしたとき、やまもとさんがきたので、まってあげました。やまもとさんが「すみません。たすかりました」といったので、リタさんは、にほんらしいかただとおもいました。にほんでは、きくばりをたいせつにしているからです。リタさんは、りょこうにいったときのはなしをしました。あさごはんでなまのたまごをたべずにのこしたら、つぎのあさ、リタさんにだけゆでたまごがでてきたので、にほんのきくばりはすごいとおもいました。

しかし、きくばりをしすぎるのはよくないとおもっています。でんしゃでおとしよりにせきをゆずるたびに、おとしよりはいつも「すみません」といいます。それをきくと、リタさんはかなしくなります。リタさんのくにではおとしよりにせきをゆずるのはあたりまえのことだから、おとしよりも「すみません」とはいいません。リタさんは、ひとのきもちをかんがえすぎて「すみません」というより、「ありがとう」といったほうがいいとおもっています。

1. リタさんは、どうして山本さんの言葉が日本らしい言い方だと思っているのですか。
2. リタさんが旅行に行ったとき、ゆでた卵が出てきて驚いたのはどうしてですか。
3. リタさんはどうして「ありがとう」と言ったほうがいいとおもっているのですか。

☆漢字を使って、文を書き直しましょう。

〈使ってみよう〉

☆例を見て、文を作りましょう。

1. ~たびに

例 私が電車で席を譲るたびに、お年寄りは「すみません」と言います。

_____ たびに、_____。

2. ~なんて

例 初めて会った人に「年はいくつですか」なんて聞きません。

_____ なんて _____。

3. ~(よ)うとする

例 リタさんはエレベーターで下りようとしたのですが、山本さんが来たので、
待ってあげました。

_____ (よ)うとしたのですが、_____ ので、
_____。

〈インタビューしよう〉

☆友達や周りの人にインタビューしましょう。4と5は、質問を考えましょう。

1. 外国に行って、文化や習慣の違いに驚いたことがありますか。

2. 「日本らしい」と思ったことが何かありますか。

3. それはどんなことですか。どうしてそう思ったのですか。

4.

5.

〈書いてみよう〉

☆質問の答えをまとめて、300字ぐらいの文を書きましょう。

だい か さいがい
第6課 災害

〈この課で伝え合うこと〉

さいがい お さいがい
災害が起きたとき、どうすればいいか、どんな準備をしておけばいいかなど、災害のときやく た じょうほう つた あ
に役に立つ情報を伝え合いましょう。

あたら ことば しら
〈新しい言葉を調べよう〉

ことば い み しら か
☆言葉の意味を調べて、書きましょう。

さいがい 災害	おきる 起きる	じゅん び 準備(する)	じょうほう 情報
じしん 地震	あ 遭う	ゆ 揺れる	そう えば そう言えば
よしん 余震	つづ 続く	くず 崩れる	しとしと しとしと
だ 抱く	ひとばん 一晩	(たいへん)め (大変な)目	つら 辛い
だめ(な) ひなん よう (避難)用	ばあい 場合	ひなん 避難(する)	ひじょうしょく 非常食
ひつよう 必要(な)	さっと さっと	もちだす 持ち出す	~ように ~ように
かじ 火事	つ 詰める	あんしん 安心(な)(する)	~そうだ ~そうだ

つぎ ことば つか ぶん つく
☆次の言葉を使って、文を作りましょう。

1. ~目に遭う _____
2. さっと _____
3. 必要(な) _____

かんが
〈考えてみよう〉

1. 地震に遭ったことがありますか。
2. 地震のすぐ後に、どんなことをすればいいですか。
3. 地震が起きたときのために、どんな準備をしておくといいですか。



はな
〈話してみよう〉

つぎ かいわ こえ だ なんど れんしゅう
☆次の会話を声に出して、何度も練習しましょう。

キム : 昨日の夕方、揺れましたよね。ラビンさんは、どこにいましたか。

ラビン: エレベーターに乗ろうと思って、待っていたときでした。とても怖かったです。

キム : 本当にね。そう言えば、何年か前にネパールで大きな地震がありましたよね。

ラビン: ええ、そうです。あのときのことを思い出しました。最初の地震の後も余震が続いていて、家が崩れそうだったので、外に出たんです。外は雨がしとしと降っていましたが、妻と二人で子どもたちを抱いて、一晩中外に立っていました。

キム : 大変な目に遭いましたね。辛かったですよ。

ラビン: ええ、もうだめかと思いました。もし、あんな地震が日本で起きた場合、どうしたらいいんでしょうか。日本語ができないし、とても心配です。

キム : 外国人のためにいろいろな言葉で生活情報を伝えているセンターがあります。災害が起きたときの避難場所やそのほかの情報を教えてください。

ラビン: そうですか、調べてみます。

キム : 私は水や非常食を買って、置いています。避難用のかばんもあります。

ラビン: そうですね。さっと持ち出せるように、必要な物を詰めておくといいですね。

キム : それから、地震が起きたときにどうするか、家族で話し合っておいたほうがいいですよ。

ラビン: なるほど、そうしておけば、安心ですね。

☆会話と合っている文に○、合っていない文に×を書きましょう。

1. () 昨日の夕方、地震がありました。
2. () 地震のとき、キムさんとラビンさんはエレベーターを待っていました。
3. () いろいろな言葉で生活の情報を伝えているセンターがあります。
4. () ラビンさんは水と非常食を家に置いています。
5. () キムさんは地震のときどうするか家族で話し合っておくことを勧めました。

〈よ読んでみよう〉

☆つぎぶんよ、しつもんこたの文を読んで、質問に答えましょう。

キムさんとラビンさんは、きのうのゆうがた、じしんがあつたときのことはなしていません。そのとき、ラビンさんはちょうどエレベーターをまっていました。ラビンさんはとてもこわかつたといっています。そして、なんねんかまえにネパールでおきた、おおきいじしんのことをおもいだしました。ラビンさんは、よしんでいえがくずれるのがこわくて、いえのそとにでました。そとはあめがふっていましたが、それでも、つまとふたりでこどもたちをだいて、ひとばんじゅうそとにたっていたそうです。

ラビンさんは、もし、ネパールでおきたようなじしんがにほんでおきたばあい、どうしたらいいかとしんぱいしています。キムさんは、がいこくじんのためにいろいろなことばでせいかつじょうほうをつたえているセンターがあること、さいがいがおきたときのひなんばしよなどのじょうほうをおしえてくれることをつたえました。キムさんは、みずやひじょうしよくをかっておいておいたり、ひなんようのかばんをじゅんびしたりしているそうで、ラビンさんにもすすめました。それで、ラビンさんは、ひつようなものをかばんにつめておこうとおもいました。それから、キムさんは、じしんがおきたときにどうするか、かぞくではなしあつておいたほうがいいとつたえました。

1. きのうのゆうがた、じしんお、なにをなにしていましたか。
2. ラビンさんは、どうしてひとばんじゅうこどもをだいてそとにたっていたのですか。
3. キムさんは、じしんお、じゅんびをなにしていますか。

☆かんじつかぶんかなおの漢字を使って、文を書き直しましょう。

〈使ってみよう〉

☆例を見て、文を作りましょう。

1. そう言えば

例 A: 昨日の地震は怖かったですね。

B: ええ、本当に。そう言えば、ネパールでも大きい地震がありましたね。

A: 昨日、駅の近くで、火事があったそうです。

B: そう言えば、_____。

2. ～場合

例 地震が起きた場合、どうしたらいいですか。

_____ 場合、_____。

3. ～ておく

例 地震のとき、困らないように、かばんに水や非常食を詰めておきます。

_____ ように、_____ ておきます。

〈インタビューしよう〉

☆友達や周りの人にインタビューしましょう。4と5は、質問を考えましょう。

1. 日本では、地震のほかにどんな災害が多いですか。

2. 災害が起きたときのために、準備していることがありますか。

3. 災害が起きたとき、どこに避難すればいいですか。

4.

5.

〈書いてみよう〉

☆質問の答えをまとめて、300字ぐらいの文を書きましょう。

第7課 SNS (ソーシャル・ネットワーキング・サービス)

〈この課で伝え合うこと〉

どんなとき SNS を使うか、どう使ったら便利かなど、SNS の使い方について考えを伝え合しましょう。

〈新しい言葉を調べよう〉

☆言葉の意味を調べて、書きましょう。

SNS	アプリ	入力(する)	やり取り(する)
(お)茶会	係	メンバー	わくわく(する)
~しか(~ない)	~以外	バタバタ(する)	なんとなく
伝わる	グループ	打ち合わせ	メール
チャット	(1)対(1)	メッセージ	複数
同時に	無料	ビデオ	会議
おすすめ	まず	行う	提案(する)
さらに			

☆次の言葉を使って、文を作りましょう。

1. わくわく(する) _____
2. なんとなく _____
3. バタバタ(する) _____

〈考えてみよう〉

1. よく使う SNS のアプリは何ですか。
2. スマホやパソコンなどで日本語を入力することができますか。
3. SNS のアプリを使って、いつもよくやり取りをする人は誰ですか。



はな
〈話してみよう〉

つぎ かいわ こえ だ なんど れんしゅう
☆次の会話を声に出して、何度も練習しましょう。

た なか さらいしゅう ちゃかい こんかい た なか
アン：田中さん、再来週の「にほんごお茶会」のことなんですけど、今回は田中さんも
じゅんび かり
準備の係ですね。

た なか こんかい みな くに た
田中：ええ、そうですよ。キムさんとタンさんもメンバーです。今回は皆さんが国の食べ
もの も
物を持ってきてくれるんですよ。どんな物が出てくるか、わくわくしますね。

た なか りょうり かんが た もの い がい
アン：ふふ、田中さんは料理のことしか考えていませんね。食べ物のこと以外、まだ
なに き
何も決まらずで、ちょっと心配です。帰るときはみんなバタバタして話せない
ので、このアプリでやり取りしたいんですけど、入ってます？

た なか はい つか じぶん じょうほう
田中：え、ああ、入ってますよ。でも、使ったことはないなあ…。なんとなく、自分の情報
し ひと つた
が知らない人に伝わるのがいやで…。

た なか わたし かり ひと つく
アン：それはだいじょうぶです。私たち係の人だけでグループを作りますから。この
アプリでやり取りすれば、教室で会わなくても打ち合わせできますよ。

た なか
田中：これはメールみたいなものですか。

た なか たい こうかん ふくすう ひと
アン：メールというよりチャットですね。1対1でメッセージの交換もできるし、複数の人
どうじ と むりよう かいわ かいぎ
と同時にやり取りすることもできるんです。それに、無料で会話やビデオ会議で
きます。

た なか べんり
田中：ええっ、すごい！ 便利ですね。

た なか くに むすこ はな じしん さいがい
アン：サリムさんも国の息子さんとこれで話しています。それに、地震や災害のときも
つか
使えるので、いいですよ。おすすめです。

た なか つか
田中：それなら使ってみようかな…。どうすればいいんですか。

た なか
アン：ええっと、まず…。

かいわ あ ぶん あ ぶん か
☆会話と合っている文に○、合っていない文に×を書きましょう。

1. () た なか さらいしゅう ちゃかい じゅんび かり
田中さんとアンさんは再来週の「にほんごお茶会」の準備をする係です。
2. () 「にほんごお茶会」の準備はもう全部できました。
3. () た なか つか はい
田中さんのスマホにはアンさんの使っているアプリが入っていません。
4. () た なか すす つか
田中さんはアンさんが勧めるアプリをこれまで使っていませんでした。
5. () た なか つか むりよう
アンさんが使っているアプリは無料でできることがいろいろあります。

〈読んでみよう〉

☆次の文を読んで、質問に答えましょう。

このにほんごきょうしつではさらいしゅう「にほんごおちゃかい」をおこないます。こんかいはみんながなにかたべものをもってくることになっているので、たなかさんはたのしみにしています。

おちゃかいをじゅんびするかかりはアンさん、タンさん、キムさん、たなかさんです。まだ、たべものいがいのがきまっていないので、アンさんはしんぱいしています。かかりのひとたちとそうだんしたいとおもっていますが、きょうしつではゆっくりはなせないのので、アンさんはたなかさんにアプリでやりとりすることをていあんしました。しかし、たなかさんはそのアプリをつかったことがありません。じぶんのじょうほうがしらないひとにつたわるのがいやだからです。それで、アンさんはたなかさんに、かかりのひとだけでグループをつくるので、もんだいなしとつたえました。そして、かかりのひととアプリでやりとりすれば、きょうしつがいのじかんでもそうだんができるとすすめました。さらに、アプリのべんりなつかいかたをせつめいしたので、たなかさんもつかってみることにしました。それで、アンさんはたなかさんにつかいかたをおしえてあげました。

1. 今回のお茶会では何をすることが決まっていますか。
2. アンさんはどうしてSNSのアプリでやり取りしたいのですか。
3. 田中さんはどうしてアンさんが提案したアプリを使ったことがなかったのですか。

☆漢字を使って、文を書き直しましょう。

〈使ってみよう〉

☆例を見て、文を作りましょう。

1. ~のことなんですけど

例 A: 田中さん、再来週の「にほんごお茶会」のことなんですけど…。

B: ええ、何ですか。

A: あのう、_____のことなんですけど…。

B: ええ、何ですか。

2. ~ば、~なくても

例 SNS のアプリでやり取りをすれば、教室で会わなくても、相談できます。

_____ば、_____なくても、_____。

3. ~というより

例 キムさんは先生というよりみんなのお母さんです。

_____は_____というより_____。

〈インタビューしよう〉

☆友達や周りの人にインタビューしましょう。4と5は、質問を考えましょう。

1. SNSのアプリを使って、どんなことをしますか。

2. SNSを使うとき、気をつけていることがありますか。

3. SNSで最近新しく友達になった人がいますか。

4.

5.

〈書いてみよう〉

☆質問の答えをまとめて、300字ぐらいの文を書きましょう。

だい か じまん りょうり
第8課 自慢の料理

〈この課で伝え合うこと〉

どんな料理か、どうやって作るかなど料理について説明しましょう。

〈新しい言葉を調べよう〉

☆言葉の意味を調べて、書きましょう。

じまん 自慢(する)	どうやって	チヂミ	～なんか
こむぎこ 小麦粉	このや お好み焼き	に 似る	ニラ
あぶら ごま油	かいせん 海鮮	できあ 出来上がる	す 酢
コチュジャン	から ピリ辛	たれ	(たれを)つける
はじめに	た (食べ)やすい	おお (大き)さ	ボウル
ま 混ぜる	フライパン	ひ (火に)かける	ざいりょう 材料
の 伸ばす	ひょうめん 表面	カリッと	ホットプレート
ジュージュー	あつあつ	めったに(～ない)	(しょうゆを)かける

☆次の言葉を使って、文を作りましょう。

1. 似る _____
2. カリッと _____
3. めったに(～ない) _____

〈考えてみよう〉

1. 料理が得意ですか。
2. どんな料理が好きですか。
3. 家族や友達が集まったとき、どんな料理を食べますか。



〈話してみよう〉

☆次の会話を声に出して、何度も練習しましょう。

アン: キムさん、あしたうちで、来週国へ帰る友達のためにパーティーをするんですけど、どんな料理を作ったらいいと思いますか。

キム: そうですね。チヂミなんかどうですか。簡単ですよ。韓国では雨の日に食べる料理だと言われています。雨の日は買い物に行きたくないでしょう。だから、家にある小麦粉と野菜で作ったそうです。

アン: へえ、どんな料理なんですか。

キム: お好み焼きに似ています。ニラとえびとごま油があれば、海鮮チヂミになりますよ。チヂミが出来上がったら、しょうゆと酢とコチュジャンで作ったピリ辛のたれをつけて食べます。

アン: へえ、おいしそうですね。教えてください。

キム: ええ、いいですよ。はじめに、野菜を食べやすい大きさに切ります。それから、ボウルに小麦粉と水を入れて、さっと混ぜます。それから、その中に切っておいた野菜とえびを入れて、よく混ぜます。次に、フライパンを火にかけて、ごま油を入れて、熱くなったら、材料を薄く伸ばして、表面をカリッと焼くんです。

アン: うちにホットプレートがあるんですけど、ホットプレートで焼いてもいいですか。

キム: ええ、いいですよ。みんなでジュージュー焼きながら、あつあつのチヂミを食べたら、きっと楽しいと思います。

アン: 良かった。友達が国へ帰ったら、めったに会えなくなるので、楽しいパーティーにしたいんです。ありがとう、やってみます。

☆会話と合っている文に○、合っていない文に×を書きましょう。

1. () アンさんの友達はあした自分の家でパーティーをします。
2. () キムさんはチヂミは家で簡単に作れる料理だと言っています。
3. () アンさんはキムさんにお好み焼きの作り方を尋ねました。
4. () キムさんの話では、チヂミにはしょうゆをかけて食べるそうです。
5. () チヂミは材料を全部混ぜてから焼きます。

〈よんでみよう〉

☆次の文を読んで、質問に答えましょう。

あした、アンさんは、うちでパーティーをします。アンさんのともだちがくにへかえるからです。アンさんはパーティーでだすりょうりについて、キムさんにそうだんしました。キムさんは、チヂミというりょうりをおしえてくれました。チヂミはかんこくのりょうりで、あめのひによくつくってたべるそうです。あめのひはかいものいきたくないで、いえにあるざいりょうでチヂミをつくったそうです。

チヂミはおこのみやきににたりょうりです。ニラとえびとごまあぶらをつかえば、かいせんチヂミができます。はじめに、やさいをたべやすいおおきさにきります。つぎに、ボールにこむぎことみずをいれて、さっとまぜます。それから、そのなかにやさいとえびをいれて、よくまぜます。つぎに、フライパンをひにかけて、ごまあぶらをいれて、あつくなったら、そのうえにざいりょうをうすくのばしてやきます。ひょうめんがカリッとやけたら、できあがりです。しょうゆとすとコチュジャンでつくったピリからのたれをつけてたべます。ホットプレートでもやけます。

1. アンさんは、キムさんにどんなことを相談しましたか。

2. チヂミを作るとき、はじめに何をしますか。

3. たれの材料は何ですか。

☆漢字を使って、文を書き直しましょう。

〈使ってみよう〉

☆例を見て、文を作りましょう。

1. ~名詞(だ)

例 チヂミは家で簡単に作れる料理です。

_____は_____料理です。

2. ~と言われている

例 チヂミは雨の日に食べる料理だと言われています。

_____は_____と言われています。

3. はじめに、~。次に、~。

例 はじめに、野菜を切ります。次に、ボウルに小麦粉と水を入れて、さっと混ぜます。

はじめに、_____。次に、_____。

〈インタビューしよう〉

☆友達や周りの人にインタビューしましょう。4と5は、質問を考えましょう。

1. 友達が遊びに来たら、どんな料理を作りますか。

2. その料理を作るのはどうしてですか。

3. よく作る料理がありますか。その作り方を教えてください。

4.

5.

〈書いてみよう〉

☆質問の答えをまとめて、300字ぐらいの文を書きましょう。

だい か おおさか
第9課 ふるさと大阪

〈この課で伝え合うこと〉

います おおさか ばしょ もの ひと しょうかい
今住んでいる大阪のいろいろな場所や物や人などについて紹介しましょう。

あたら ことば しら
〈新しい言葉を調べよう〉

ことば い み しら か
☆言葉の意味を調べて、書きましょう。

ふるさと	いそ 急ぐ	それぞれ(する)	(お) しょうがつ 正月
(お) いわ 祝い	ゆうじん 友人	ごちそう(する)	ワイワイ
うきうき(する)	～そう(な)	しょくりょうひん 食料品	ざっ か 雑貨
まるで	～よう(な)	きぶん 気分	あんない 案内(する)
ところで	よなか 夜中	さわ 騒ぐ	～といえ えば
かんこう 観光(する)	かんこう ち (観光)地	しゅうちゅう 集中(する)	ようす 様子
(～た)ところ	～とのこと(だ)	きょうみ 興味	う 生まれ 育て 育つ
くら 比べる			

※場所の名前: ばしょ なまえ や お し コリアタウン 八尾(市) おおさかじょう 大阪城

つぎ ことば つか ぶん つく
☆次の言葉を使って、文を作りましょう。

1. それぞれ(する) _____
2. ワイワイ _____
3. うきうき(する) _____

かんが
〈考えてみよう〉

1. 今、どこに住んでいますか。
2. 大阪でよく行く場所がありますか。
3. 大阪の有名な食べ物を知っていますか。



はな
〈話してみよう〉

つぎ かいわ こえ だ なんど れんしゅう
☆次の会話を声に出して、何度も練習しましょう。

キム: ずいぶん急いでいますね。ずっとそわそわしていたし、今日は何かあるんですか。

タン: ええ、あしたはベトナムのお正月ですから、これから八尾に行くんですよ。

キム: えっ、八尾? 何かあるんですか。

タン: 八尾にはベトナムの人がたくさん住んでいるので、ベトナムの店が多いんです。

キム: そうですか、はじめて聞きました。これからお正月のお祝いをするんですか。

タン: ええ、今晩ベトナムの友人たちと集まって、ごちそうを食べながら、ワイワイ話したり、お酒を飲んだりするんです。だから、朝からうきうきしてるんです。

キム: いいですね。楽しそう…。ベトナム料理のレストランがあるんですか。

タン: ええ、レストランやカラオケ、食料品や雑貨の店もあります。まるでベトナムにいらるような気分になりますよ。

キム: 八尾にベトナムの人の町があるんですね。私も行ってみたいなあ…。

タン: ええ、今度案内しますよ。日本に来たばかりのころは、知らなかったのですが、お正月もつまらなかったんですが、今はベトナムにいたころと同じくらい楽しみです。

キム: 良かったですね。ところで、大阪には「コリアタウン」もあります。知っていますか。

タン: へえ、「コリアタウン」ですか。

キム: 実は私たちも今晩お正月のお祝いをするんです。みんな夜中まで騒ぎますよ。

タン: やっぱりお正月は大切ですよ。でも、大阪にはいろいろな町があるんですね。

キム: ええ、大阪と言えば、大阪城が有名ですが、観光地だけでなく、ほかにもおもしろい所がたくさんありますよ。

タン: そうですね。僕もいろいろな所に出かけて、もっと大阪のことを知りたいです。

☆会話と合っている文に○、合っていない文に×を書きましょう。

1. () 今日はベトナムのお正月です。
2. () タンさんは、今晩友人と食べたり飲んだりします。
3. () 八尾にはベトナムの人がたくさん住んでいます。
4. () 大阪にはコリアタウンがあります。
5. () キムさんは今晩タンさんと一緒にお正月のお祝いをします。

〈よ読んでみよう〉

☆^{つぎ}次の^{ぶん}文^よを読んで、^{しつもん}質問^{こた}に^{こた}答え^{こた}ましょう。

タンさんは、きょうはそわそわして、あまりべんきょうにしゅうちゅうできないようすでした。それで、キムさんがタンさんにたずねたところ、タンさんはこれからやおしへいくとのことでした。あしたはベトナムのおしょうがつだから、こんばんはゆうじんたちとおいおいをするそうです。それで、タンさんはうきうきして、はやくかえりたいとおもっていたのです。

キムさんは、やおしにベトナムのひとがたくさんすんでいることをしらなかったので、タンさんにいろいろきいてみました。ベトナムりょうりのレストランやカラオケ、しょくりょうひんやざっかのみせなどがあるそうで、そこへいくと、まるでベトナムにいるようなきぶんになるそうです。キムさんは、ベトナムのひとのまちにきょうみをもったので、こんどタンさんにあんないしてもらおうことにしました。タンさんは、このまちのことをしるまえはおしょうがつもつまらないとおもいましたが、いまはとてもたのしみにしています。

キムさんは、タンさんのはなしをきいて、コリアタウンがあることをはなしました。そして、ゆうめいなかんこうちだけでなく、ほかにもおもしろいところがあるといいました。それで、タンさんは、いろいろなところにてかけて、おおさかのことをもっとしりたいとおもいました。

1. タンさんはどうしてそわそわしていましたか。
2. ベトナムの^{ひと}人が^すたくさん^す住^すんでいる^{まち}町^{なに}には何^{なに}がありますか。
3. タンさんは、キムさんの^{はなし}話^きを^き聞^きいて、^{おも}どう^{おも}思^{おも}いましたか。

☆^{かんじ}漢^{つか}字^{つか}を使^{つか}って、^{ぶん}文^かを^か書^かき^{なお}直^{なお}しましょう。

〈使ってみよう〉

☆例を見て、文を作りましょう。

1. ~よう(な)

例 この町へ来ると、まるでベトナムにいるような気分になります。

_____と、まるで_____ような
気分になります。

2. ~と言えば

例 大阪と言えば、大阪城が有名です。

_____と言えば、_____。

3. ~たところ

例 キムさんがタンさんに尋ねたところ、八尾へ行くとのことでした。

_____に尋ねたところ、_____とのこと
でした。

〈インタビューしよう〉

☆友達や周りの人にインタビューしましょう。4と5は、質問を考えましょう。

1. 大阪は住みやすい町だと思いますか。
2. それはどうしてですか。
3. 自分が生まれ育った場所と大阪を比べて、どう思いますか。
- 4.
- 5.

〈書いてみよう〉

☆質問の答えをまとめて、300字ぐらいの文を書きましょう。

だい か りょこう
第10課 旅行

〈この課で伝え合うこと〉

旅行の思い出について伝え合ひましょう。

〈新しい言葉を調べよう〉

☆言葉の意味を調べて、書きましよう。

おしゃれ(な)

ひとりたび
一人旅

さがす
探す

びじゅつかん
美術館

あいて
相手

ついでに

てあ
出会う

すっかり

ケース

いさき
行き先

けいかく た
(計画を)立てる

とお
～通り

みち まよ
(道に)迷う

じもと
地元

てくてく

リフレッシュ(する)

あいだ
この間

けいかく
計画(する)

もちろん

もんく
文句

なにげ
何気ない

いがい
意外(な)

なが
眺める

(3) 連休

インターネット

たと
例えば

じゆう
自由(な)

み
見つける

きかい
機会

おかげで

ばしょ なまえ かなざわ
※場所の名前:金沢

☆次の言葉を使って、文を作りましよう。

1. この間 _____
2. ついでに _____
3. すっかり _____

〈考えてみよう〉

1. 最近どこかへ旅行に行きましたか。
2. それはいつですか。
3. そこで何をしましたか。



はな
〈話してみよう〉

つぎ かいわ こえ だ なんど れんしゅう
☆次の会話を声に出して、何度も練習しましょう。

やまもと
山本: わあ、おしゃれなスマホケースですね。

アン: あ、これね。この間の3連休に金沢へ行って、そのとき買ったんです。

やまもと かなざわ
山本: 金沢ですか、いいなあ…。友達と、ですか。

アン: いいえ、友達は仕事だったから、一人で…。

やまもと ひとりたび わたし ひとりたび
山本: えっ、一人旅? 私はしたことはないんですけど、一人旅ってさびしくないですか。

アン: いいえ、全然。行く前からもうわくわくして、楽しいですよ。まず、いき先を決めて、
りょこう けいかく
旅行の計画をします。それから、おいしい食べ物とか、おしゃれな雑貨屋さんとかをインターネットで探すんです。

やまもと ともだち いっしょ りょこう けいかく た たの
山本: 友達と一緒に旅行の計画を立てるのも楽しいですよ。

アン: もちろん、それはそうですけど、誰かと一緒だと、例えば、美術館へ行きたくても、
ほかの人が行きたくなかったら、行けませんよね。それに比べて、一人旅はしたいことが何でもできるし、計画した通りにしなくても、誰も文句を言いません。

やまもと じゆう
山本: そうか、自由ですね。でも、ずっと一人で話す相手もないんでしょ。

アン: そんなことはないですよ。私は金沢でよく道に迷って人に聞きましたけど、みんな親切でした。それから何気なく寄った店でこのスマホケースを見つけたんです。
みせ ひと ぶん はな じもと りょうり みせ おし
店の人と30分くらい話して、ついでに地元の料理の店を教えてくださいました。

やまもと
山本: へえ、そうなんですか。意外に人と話す機会があるんですね。

アン: いろいろな人と出会いましたよ。知らない町をてくてく歩いておいしいものを食べたり、きれいな海を眺めたり…。おかげで時間を忘れて、すっかりリフレッシュできました。

やまもと
山本: へえ、いいですね。私も行ってみようかな…。おすすめの場所を教えてください。

かいわ あ ぶん あ ぶん か
☆会話と合っている文に○、合っていない文に×を書きましょう。

1. () アンさんは3連休に友達と金沢へ行きました。
2. () 山本さんは今まで一人でいろいろな所を旅行しました。
3. () 山本さんは一人旅は寂しいと思っています。
4. () アンさんは金沢でいろいろな場所へ行きました。
5. () アンさんは3連休に旅行をして、リフレッシュできたと言っています。

〈よ読んでみよう〉

☆つぎぶんよ、しつもんこたに読んで、質問に答えましょう。

やまもとさんはアンさんがもっているスマホケースをみて、おしゃれだなとおもいました。それはアンさんがひとりたびをして、かなざわで買ったものです。やまもとさんはひとりたびをしたことがなかったので、アンさんにひとりたびについてききました。

アンさんはひとりたびがすきです。りょこうにいくまえにけいかくをたてて、インターネットでおいしいたべものやおしゃれなざっかやさんをさがしました。いくまえからわくわくして、たのしかったといっています。そして、だれかといっしょだと、みんながいくといわなければ、じぶんのいきたいところへいけません、ひとりたびはなんでもできるといっています。

アンさんはかなざわでみちにまよったとき、ひとにききましたが、みんなしんせつだったそうです。なにげなくよったみせで、スマホケースをかいました。そして、みせのひとと30ぷんぐらいはなして、ついでにじもとのりょうりをだすみせをおしえてもらいました。知らないまちをあるくのもたのしかったし、おいしいものをたべたり、うみをながめたりして、じかんをわすれ、リフレッシュすることができました。やまもとさんは、ひとりたびにきょうみをもって、いってみたいとおもいました。そして、アンさんにおすすめのばしょをおしえてほしいとたのみました。

1. アンさんは、りょこういまえなに、旅行に行く前に何をしましたか。

2. アンさんは、スマホケースを買った店のひとに、かみせひとなに、何を教えてもらいましたか。

3. やまもと山本さんは、アンさんにどんなことをたの頼みましたか。

☆かんじつかぶんかなお漢字を使って、文を書き直しましょう。

〈使ってみよう〉

☆例を見て、文を作りましょう。

1. ～通り

例 計画した通り、一人で金沢へ旅行に行きました。

通り、_____。

2. ～ても、～たら

例 美術館へ行きたくても、ほかの人が行きたくなかったら、行けません。

_____ても、_____たら、_____。

3. ～てほしい

例 私は友達に旅行の写真を見せてほしいと頼みました。

私は_____に_____てほしいと頼みました。

〈インタビューしよう〉

☆友達や周りの人にインタビューしましょう。4と5は、質問を考えましょう。

1. 一人旅をしたことがありますか。

2. 今まで行った旅行の中で、一番楽しかったのはどんな旅行ですか。

3. これから行ってみたい場所がありますか。それはどうしてですか。

4.

5.

〈書いてみよう〉

☆質問の答えをまとめて、300字ぐらいの文を書きましょう。

だい 11 課 人との付き合い

〈この課で伝え合うこと〉

ひと ひと かんけい なか かん さまざま なや つた あ
人と人との関係の中で感じる様々なストレスや悩みについて伝え合ひましょう。

〈新しい言葉を調べよう〉

☆言葉の意味を調べて、書きましよう。

つきあ 付き合い	かんけい 関係(する)	かん 感じる	さまざま 様々(な)
ストレス	なや 悩み	つきあ 付き合う	ことわ 断る
えんりよ 遠慮なく	おおや 大家(さん)	ちゆうい 注意(する)	ごみ
す 捨てる	ちゃんど	ぶんべつ 分別(する)	も 燃える
めんどう 面倒(な)	た もの (食べ物)をやる	うろうろ(する)	いや 嫌がる
せんたくもの 洗濯物	ほ 干す	(~た)まま	ご かい 誤解(する)
わる ぎ 悪気	しようがない	き 気にかかる	~き ~気がする
り ゆう 理由	ただ	うまくい	

☆次の言葉を使って、文を作りましよう。

1. ちゃんと _____
2. うろうろ(する) _____
3. うまくい _____

〈考えてみよう〉

1. 人と話すのが好きですか。
2. 人に誘われたら、付き合うことが多いですか。断ることが多いですか。
3. ストレスや悩みなど、話したいことを何でも話せる人がいますか。



〈話してみよう〉

☆次の会話を声に出して、何度も練習しましょう。

田中：サリムさん、なんか今日は元気がありませんね。どうしたんですか。

サリム：え、そうですか。そんなこと、ありませんよ。

田中：何かあったのなら、遠慮なく言ってくださいよ。

サリム：いや、実は、昨日と今朝と、2回も大家さんに注意されてしまって…。

田中：注意って、どんな？何か、あったの？

サリム：昨日はごみの捨て方が悪いって。ちゃんと分別してくださいって言われました。

田中：ああ、燃えるごみとか、燃えないごみとかね。面倒だけど、それはやらなくちゃね。

サリム：ええ、もちろん、それはわかります。それと、今朝はね、僕の家は1階なんですけど、よく猫が来るんで、ちょっと食べ物をやってたら、また注意されたんです。

田中：ああ、そうだよね。猫が家の周りをうろうろしたら、嫌がる人もいるからね。

サリム：そうですね。でも、小さい猫でかわいそうだったから、つい…。まあ、ごみのことも、猫のことも自分が良くなかったと思いますが、なんかいつも見られてるようで…。

田中：見られている？誰に？大家さんですか。

サリム：ん、ま、大家さんもそうだし、近所の人たちにも…。よく「昨日来た人はお友達？」とか、「一晩中洗濯物を干したままでしたよ」とか、いろいろ言われます。僕の誤解かもしれないけど、なんか、最近ちょっとストレスですね。

田中：そうか、なるほど。悪気はないと思うんですけどね。

サリム：僕が外国人だから、ですよ。しょうがないです。

田中：いや、サリムさんのことを気にかけているんじゃないかな…。もっと話してみたら？

サリム：そうですね。

☆会話と合っている文に○、合っていない文に×を書きましょう。

1. () 田中さんは、サリムさんは今日は元気がないと思いました。
2. () サリムさんは昨日、田中さんからごみを分別してくださいと言われました。
3. () 大家さんは猫に食べ物をやるのは良くないと考えています。
4. () サリムさんはいつも田中さんに見られている気がしています。
5. () 田中さんは大家さんや近所の人たちと話してみようと思っています。

〈よ読んでみよう〉

☆つぎぶんよ、しつもんこたに答えましょう。

きょうはサリムさんのようすがいつもとすこしちがったので、たなかさんがしんぱいしてりゆうをたずねてみたところ、サリムさんは、おおやさんからきのうとけさ、2かいもちゅういされたとのことでした。きのうはごみのすてかたがわるかったので、「ちゃんとぶんべつしてください」といわれました。そして、けさは、ねこにたべものをやっているとき、ちゅういされました。サリムさんはじぶんがよくなかったとおもっていますが、おおやさんやきんじよのひとたちにいつもみられているようなきがしています。そして、それがストレスだといっています。

たなかさんは、「おおやさんやきんじよのひとたちにわるぎはなく、ただサリムさんのことをきにかけているだけだ」といいました。でも、サリムさんは、みんながいろいろなのは、じぶんががいこくじんだからだろうとおもっています。そして、それはしょうがないことだとかんがえています。それをきいて、たなかさんは、「おおやさんやきんじよのひとたちともっとはなしてみたほうがいい」といっています。

1. サリムさんは、どんなことにストレスを感じていますか。
2. それについて、田中さんはどう言っていますか。
3. サリムさんは大家さんや近所の人たちにいろいろ言われるのはどうしてだと考えていますか。

☆かんじつかぶんか、なお漢字を使って、文を書き直しましょう。

〈使ってみよう〉

☆例を見て、文を作りましょう。

1. ~たまま

例 洗濯物を干したまま、寝てしまいました。

_____ たまま、_____。

2. ~ような気がする

例 サリムさんは今日はちょっと元気がないような気がします。

_____ は _____ ような気がします。

3. ~のは~からだ

例 日本語の学習をしているのはたくさんの人と友達になりたいからです。

_____ のは _____ からです。

〈インタビューしよう〉

☆友達や周りの人にインタビューしましょう。4と5は、質問を考えましょう。

1. 周りの人とうまくいっていますか。

2. 人との付き合いで、何かストレスを感じることはありませんか。

3. ストレスを感じたとき、どうしますか。

4.

5.

〈書いてみよう〉

☆質問の答えをまとめて、300字ぐらいの文を書きましょう。

だい か けんこう
第12課 健康

〈この課で伝え合うこと〉

いま たいちよう どうか、どうやって たいちよう かんり しているかなど、けんこう しているための ほうほう について 伝え合ひましよう。

〈新しい言葉を調べよう〉

☆言葉の意味を調べて、書きましよう。

けんこう 健康	たいちよう 体調	かんり 管理(する)	ほうほう 方法
たいおん 体温	インフルエンザ	ねつ 熱	はか 測る
(39度1)分	ずきずき(する)	せき 咳	めずら 珍しい
(病気に)かかる	ざんぎよう 残業(する)	しかも	しゅっしん 出勤(する)
ねぶそく 寝不足	すいみん 睡眠	しょくじ 食事(する)	(3)食
(食事を)とる	ぬ 抜く	よぼうせっしゅ 予防接種	ちゅうしゃ 注射
しょうじょう 症状	かんせん 感染(する)	こころぼそ 心細い	ちよくちよく ちよくちよく
にゅういん 入院(する)	しゅん 旬	さすが	きそくただ 規則正しい
えいよう 栄養	うんどう 運動(する)	かえ おそ うえ (帰るのが遅い)上	けが

☆次の言葉を使って、文を作ります。

1. ずきずき(する) _____
2. 抜く _____
3. ちよくちよく _____

〈考えてみよう〉

1. 日本へ来てから、体調が悪くなったことがありますか。
2. 救急車を呼ぶ電話番号を知っていますか。
3. 体温はいつも何度ぐらいですか。



はな
〈話してみよう〉

つぎ かいわ こえ だ なんど れんしゅう
☆次の会話を声に出して、何度も練習しましょう。

キム : サリムさん、こんにちは。先週、教室を休んでいましたが、何かあったんですか。

サリム : インフルエンザだったんです。熱を測ってみたら、39度1分もあって、頭がずきずきするし、咳と鼻水が止まらなくなるし、…。

キム : それは大変でしたね。でも、サリムさんが病気になるなんて、珍しいですね。

サリム : ええ、僕もびっくりしました。病気になるって、めったにかかりませんから。最近、特に残業が多くて、家に帰るのが遅かったんです。しかも、出勤時間が早かったんで、寝不足になってしまって…。

キム : 睡眠は大切ですよ。食事はちゃんと3食とってる？

サリム : いや、朝は少しでも長く寝ていたくて、朝ご飯を抜くことも多かったです。

キム : そう、それで疲れが出たんでしょう。インフルエンザの予防接種はしなかったの？

サリム : ええ、注射はきらいだし、お金もかかりますから。でも、しとけばよかったです。注射をしとけば、症状はもう少し軽かったかもしれません。それに、感染するから外に出てはいけないって言われて、5日間ずっと一人で家にいたんです。

キム : そうですね。それは心細かったでしょう。

サリム : でも、大家さんがちよくちよく見に来てくれましたから、助かりました。

キム : 病気になって初めて健康の大切さに気づきますよね。私も前に入院したことがあってね。それからは健康のために6時間以上寝て、毎朝1時間歩いて、旬の物を食べるようにしています。

サリム : へえ、さすがキムさん、それでいつも元気なんだ。僕もこれからは規則正しい生活をして、栄養のある物を食べて、体調管理に気をつけるようにします。

☆会話と合っている文に○、合っていない文に×を書きましょう。

1. () サリムさんは先週、インフルエンザで教室を休みました。
2. () サリムさんはインフルエンザの予防接種をしました。
3. () サリムさんは最近寝不足になっていました。
4. () キムさんは健康のために6時間以上運動しています。
5. () キムさんは入院したことがあるので、健康に気をつけています。

〈よんでみよう〉

☆次の文を読んで、質問に答えましょう。

サリムさんは、せんしゅうインフルエンザでにほんごきょうしつをやすみました。ねつが39ど1ぶもでて、あたまもずきずきして、せきとはなみずがとまりませんでした。いままであまりびょうきにかかったことがないサリムさんは、インフルエンザになってびっくりしました。さいきは、ざんぎょうがつづいて、いえにかえるのがおそいうえ、しゅっしんじかんがはやくて、ねぶそくになってしまったからびょうきになったのだらうと、サリムさんはおもいました。あさごはんをぬくこともおおかたので、それもよくなかったとおもっています。そして、サリムさんはよぼうせしゅをしていませんでしたから、していたら、しょうじょうがもっとかかったのではないかとおもっています。インフルエンザはほかのひとにかんせんするから、サリムさんは5かかんくらいそとにでず、いえにいました。

キムさんもまえににゅういんしたことがあります。それからは、けんこうのために、6じかんいじょうねて、まいあさ1じかんあるいて、しゅんのものをたべるようにしています。キムさんのはなしをきいて、サリムさんはじぶんもきそくたしいせいかつをして、えいようのあるものをたべて、たいちょうをかんりしようとおもいました。

1. サリムさんは、インフルエンザで^{からだ}体がどうなりましたか。
2. サリムさんは、どうしてインフルエンザにかかったと^{おも}っていますか。
3. キムさんは^{けんこう}健康のためにどんなことをしていますか。

☆漢字を使って、文を書き直しましょう。

〈使ってみよう〉

☆例を見て、文を作りましょう。

1. ~^{はじ}初めて

例 ^{れい} ^{びょうき} 病気になって ^{はじ} ^{けんこう} ^{たいせつ} 初めて健康の大切さがわかりました。

_____ ^{はじ} て初めて _____。

2. ~ようにしている

例 ^{れい} ^{けんこう} 健康のために ^{やさい} ^た 野菜を食べるようにしています。

_____ ために、_____ ようにしています。

3. ~^{うえ}上

例 ^{れい} ^{せんしゅう} ^{あめ} 先週は雨がたくさん降った ^{うえ} ^{さむ} ^ひ ^{おお} 上、寒い日も多かったです。

_____ は _____ ^{うえ} 上、_____。

〈インタビューしよう〉

☆友達や周りの人にインタビューしましょう。4と5は、質問を考えましょう。

1. ^{おお} ^{びょうき} 大きい病気にかかったり、けがをしたりしたことがありますか。

2. ^{いま} ^{たいちよう} 今の体調はどうですか。

3. ^{けんこう} 健康のためにどんなことをしていますか。

4.

5.

〈書いてみよう〉

☆質問の答えをまとめて、300字ぐらいの文を書きましょう。

だい か まつ
第13課 お祭り

〈この課で伝え合うこと〉

じんじゃ てら おこな でんとうてき ゆうめい まつ ち いき じゅうみん ちゅうしん ひら
神社や寺で行われる伝統的で有名な祭りや、地域の住民が中心になって開くイベ
ントなど、さまざまな行事について紹介しましょう。

あたら ことば しら
〈新しい言葉を調べよう〉

ことば い み しら か
☆言葉の意味を調べて、書きましょう。

(お)祭り	じんじゃ 神社	(お)寺	でんとうてき 伝統的(な)
ち いき 地域	じゅうみん 住民	ちゅうしん 中心	イベント
ぎょうじ 行事	き こう 気候	のんびり(する)	しみん 市民
ふれあい	だい 第(2)	くたくた	やたい 屋台
はなび 花火	ほら	のびのび(する)	き かく 企画(する)
うんえい 運営(する)	て づく 手作り	スタッフ	はし まわ 走り回る
それにしても	よろこ 喜ぶ		

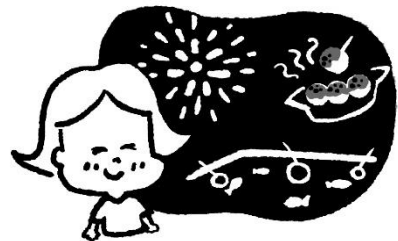
でんとうてき まつ てんじんまつり
※伝統的なお祭り:天神祭

つぎ ことば つか ぶん つく
☆次の言葉を使って、文を作りましょう。

1. のんびり(する) _____
2. くたくた _____
3. のびのび(する) _____

かんが
〈考えてみよう〉

1. お祭りが好きですか。
2. 日本でお祭りに行ったことがありますか。
3. お祭りに行って、どんなことをしましたか。



はな
〈話してみよう〉

つぎ かいわ こえ だ なんど れんしゅう
☆次の会話を声に出して、何度も練習しましょう。

やまもと にちようび なに
山本:リタさんは日曜日に何をしましたか。

ともだち さそ むすめ いっしょ まつ い
リタ:友達に誘われて、娘と一緒にお祭りに行きました。

やまもと がつ まつ めずら にほん まつ い なつ あき
山本:へえ、5月にお祭りって珍しいですね。日本でお祭りと言えば、夏か秋ですよ。

たと おおさか ゆうめい まつ てんじんまつり がつ
例えば、大阪で有名なお祭りは「天神祭」ですが、7月にあります。

リタ:ええ、でも、この季節だと気候がいいから、のんびりできて、気持ち良かったです。

やまもと い まつ
山本:リタさんが行ったのは、どこのお祭りですか。

リタ:「市民ふれあいまつり」というお祭りです。毎年5月の第2日曜日にあるそうです。一日中遊んで、くたくたになりましたが、楽しかったです。

やまもと よ なに あそ
山本:そうですか。良かったですね。何をして遊んだんですか。

リタ:パレードを見たり、ゲーム大会に参加したり、屋台で食べ物を買って食べたりしました。夜には花火もあって、楽しかったです。ほら、これがお祭りの写真です。

やまもと むすめ あそ
山本:へえ、にぎやかですね。娘さんものびのび楽しそうに遊んでいますね。

リタ:このお祭りは、伝統的なお祭りではなくて、市民が企画、運営する手作りのお祭りなんです。友達は毎年家族で行くそうですが、今年は企画・運営側のスタッフとして、走り回っていました。

やまもと まつ ひど
山本:へえ、お祭りのスタッフなんておもしろそうですね。それにしても、すごい人ですね。店もたくさん出てるし…。

リタ:ええ、子どももいれば、お年寄りもいましたね。友達から、来年はぜひ手伝ってて頼まれました。歌でも踊りでもいいし、外国の料理も喜ばれるそうです。

やまもと みせ だ わたし らいねん い
山本:いいですね。リタさんが店を出すなら、私も来年、行ってみようかな…。

かいわ あ ぶん あ ぶん か
☆会話と合っている文に○、合っていない文に×を書きましょう。

1. () リタさんは、日曜日に一人でお祭りに行きました。
2. () リタさんが行ったお祭りは伝統的なお祭りです。
3. () リタさんはお祭りのパレードを見ました。
4. () 山本さんはリタさんにお祭りの写真を見せてもらいました。
5. () 山本さんは来年このお祭りで店を出そうと思っています。

〈読んでみよう〉

☆次の文を読んで、質問に答えましょう。

やまもとさんはリタさんに、にちようびになにをしたかききました。リタさんは、ともだちにさそわれて、おすめといっしょにおまつりにいったといいました。おまつりでは、パレードをみたり、ゲームたいかいにさんかしたり、やたいでたべものを買ってたべたりして、たのしかったそうです。やまもとさんはリタさんにおまつりのしゃしんをみせてもらいました。しゃしんのなかでリタさんのおすめはのびのびとたのしそうにあそんでいました。

そのおまつりは、でんとうてきなおまつりではなくて、しみんによってきかく、うんえいされているそうです。リタさんのともだちは、まいとしかぞくでいくそうですが、こしは、きかく、うんえいがわのスタッフとしてはしりまわっていました。

そして、リタさんはともだちにらいねんはぜひおまつりをてつだってほしいとたのまれました。うたをうたってもいいし、おどりをおどってもいいし、りょうりをつくってうってもいいそうです。やまもとさんも、リタさんがみせをだすなら、そのおまつりにいってみようとおもいました。

1. リタさんは、お祭りまつでどんなことをしましたか。
2. リタさんの娘むすめはどんな様子ようすでしたか。
3. リタさんは友達ともだちにどんなことを頼たのまれましたか。

☆漢字かんじを使って、文ぶんを書き直かしましょう。

〈使ってみよう〉

☆例を見て、文を作りましょう。

1. ~として

例 友達はこのイベントの企画、運営側のスタッフとして走り回っていました。

妹はこの病院で_____として_____。

2. ~も~ば、~も

例 子どももいれば、お年寄りもいました。

_____も _____ ば、_____ も _____。

3. ~によって

例 そのお祭りは市民によって企画、運営されています。

この商品は_____によって作られています。

〈インタビューしよう〉

☆友達や周りの人にインタビューしましょう。4と5は、質問を考えましょう。

1. 生まれ育った場所で、有名な行事は何ですか。

2. それはどんな行事ですか。そのとき、何をしますか。

3. ほかにおもしろい行事があれば、紹介してください。

4.

5.

〈書いてみよう〉

☆質問の答えをまとめて、300字ぐらいの文を書きましょう。

だい 14 課 ボランティア活動

〈この課で伝え合うこと〉

ボランティア活動についてどう思うか、意見を伝え合みましょう。

〈新しい言葉を調べよう〉

☆言葉の意味を調べて、書きましょう。

意見	イメージ	ずっしり	読み聞かせる
始める	きっかけ	定年	(定年)後
ごろごろ(する)	続ける	やりがい	~ほど
(お)世話	ガス	手続き	宅配便
不在票	いつか	お返し	小学校
中学校	ルーツ	自信	

☆次の言葉を使って、文を作りましょう。

1. ずっしり _____
2. ごろごろ(する) _____
3. いつか _____

〈考えてみよう〉

1. これまでにボランティア活動をしたことがありますか。
2. 今住んでいる地域にどんなボランティア活動があるか、知っていますか。
3. ボランティア活動にどんなイメージを持っていますか。



はな
〈話してみよう〉

つぎ かいわ こえ だ なんど れんしゅう
☆次の会話を声に出して、何度も練習しましょう。

タン：田中さんのかばん、ずっしりと重そうですね。

田中：ああ、これから子どもたちに本を読み聞かせるボランティアなんです。それで、おもしろそうな本を何冊か選んで持ってきたから…。

タン：へえ、田中さんはそんなボランティアもしているんですね。すごいです。どうしてボランティアを始めたんですか。何かきっかけがありますか。

田中：ん、定年後、家でごろごろしてたとき、友人に勧められたんですよ。始めてみると、よく「ありがとう」と言われてね。人の役に立っていると、うれしくて…。

タン：何年ぐらい続けているんですか。

田中：もう5、6年になるかな…。今はやりがいを感じますよ。こちらが子どもたちから元気をもらっているほどです。

タン：いいですね。僕もボランティア、やりたいなあ…。

田中：そうですね。ぜひ一緒にやりましょう。でも、タンさんはどうして？

タン：僕は日本に来てから、いろいろな人のお世話になったんです。例えば、電気やガスの手続きとか宅配便の不在票とか…。紙を見ても全然わからなかったんですが、周りの人が親切に手伝ってくれたんです。

田中：簡単なことでも、外国にいと難しかったですからね。

タン：ええ。だから私もいつかほかの人にお返しがしたいって思ったんです。

田中：なるほど、そうですね。実は今、小学校や中学校に、外国にルーツのある子どもたちが大勢いるんですよ。ベトナムの人もありますよ。その子たちの勉強を見てあげたり、ベトナム語の本を読んであげたりしたら、喜ばれると思いますよ。

タン：本当ですか。ベトナム語でいいなら、自信があります。ぜひやらせてください。

かいわ あ ぶん あ ぶん か
☆会話と合っている文に○、合っていない文に×を書きましょう。

1. () 田中さんは、タンさんのために、おもしろそうな本を何冊か持ってきました。
2. () 田中さんはボランティアを始めて、よく「ありがとう」と言うようになりました。
3. () タンさんはボランティアをやってみたいと思っています。
4. () タンさんは日本に来たばかりのころ、周りの人に助けられました。
5. () 田中さんは、タンさんをボランティア活動に誘いました。

〈読んでみよう〉

☆次の文を読んで、質問に答えましょう。

たなかさんのかばんがおもそうだったので、タンさんがたずねたところ、こどもたちにほんをよみかせるボランティアをされていて、ほんをなんさつかもってきたとのことでした。タンさんは、たなかさんがボランティアをしていることにきょうみをもって、たなかさんにボランティアをはじめたきっかけをきいてみました。たなかさんは、ていねんごにゆうじんにさそわれてはじめてのようですが、いまはこどもたちから、げんきをもらってやりがいをかんじています。

タンさんはじぶんもボランティアがしたいとおもっていることをつたえました。たなかさんが、タンさんにどうしてやってみたいのかきいたところ、タンさんはにほんにきたばかりのころ、ひとにたすけてもらったはなしをしました。じぶんのくにではかんたんのできたこともひとりでできず、こまったとき、まわりのひとがたすけてくれたのです。そのとき、タンさんはいつかじぶんもほかのひとをてつだっておかえしがしたいとおもいました。

たなかさんは、タンさんにベトナムのこどもたちのべんきょうをてつだったり、ほんをよんだりするボランティアをすすめました。タンさんはぜひやらせてくださいとこたえました。

1. 田中さんがボランティアを始めたきっかけは何ですか。

2. どうしてタンさんはボランティア活動がしたいのでしょうか。

3. 田中さんはタンさんにどんなボランティアを勧めましたか。

☆漢字を使って、文を書き直しましょう。

〈使ってみよう〉

☆例を見て、文を作りましょう。

1. ～ほど

例 毎日仕事が忙しくて、国の家族に電話がかけられないほどです。

_____て、_____ほどです。

2. ～きっかけ

例 日本語の学習を始めたきっかけは、子どものころ、日本のドラマを見たこと
です。

_____きっかけは、_____。

3. ～(さ)せてください

例 ボランティアをやらせてください。

_____ (さ)せてください。

〈インタビューしよう〉

☆友達や周りの人にインタビューしましょう。4と5は、質問を考えましょう。

1. ボランティア活動は必要だと思いますか。
2. それはどうしてですか。
3. ボランティア活動をしてみたいと思いますか。
- 4.
- 5.

〈書いてみよう〉

☆質問の答えをまとめて、300字ぐらいの文を書きましょう。

だい か おとな ゆめ
第15課 大人の夢

〈この課で伝え合うこと〉

子どものころの夢と大人になってからの夢について伝え合ひましょう。

〈新しい言葉を調べよう〉

☆言葉の意味を調べて、書きましよう。

かなう	きんにくつう 筋肉痛	なお 治る	～はず
ジョギング	～といつても	めちやくちや(な)	マラソン
かんそう 完走(する)	もくひょう 目標	(お)きやく 客(さん)	きい 気に入る
あじ 味	ため 試す	けんきゅう 研究(する)	ねっしん 熱心(な)
スパイス	にがて 苦手(な)	いきいき	おうえん 応援(する)
～わけにはいかない	やっと	ゴール	(お)たが 互い
チャレンジ(する)	めざす	やくそく 約束(する)	かなえる

☆次の言葉を使って、文を作ります。

1. めちやくちや(な) _____
2. きいに入る _____
3. やっと _____

〈かんがえてみよう〉

1. 子どものとき、どんな夢がありましたか。
2. 子どものときの夢について、今はどう思いますか。
3. 今まで夢がかなったと思ったことがありますか。



はな
〈話してみよう〉

つぎ かいわ こえ だ なんど れんしゅう
☆次の会話を声に出して、何度も練習しましょう。

ラビン: やまもと あし
山本さん、足、どうしたんですか。だいじょうぶですか。

やまもと きのう はし きんにくつう ある
山本 : あ、わかりますか。昨日、走ったから、筋肉痛でちゃんと歩けなくて…。でも、
2、3日で治るはずだから、心配しなくてもいいですよ。ありがとう。

ラビン: そうだったんですか。やまもと はし
山本さん、走ってるんですか。

やまもと さいきん はじ
山本 : ええ、最近、ジョギングを始めました。ジョギングといっても、めちゃくちゃゆっくりですよ。でも、きのうは初めて3キロも走れたので、うれしかったです。

ラビン: すごいですね。うんどう けんこう
運動は健康にいいですよ。

やまもと じつ おおさか で かんそう ゆめ
山本 : そう、実は大阪マラソンに出て、完走するのが夢なんです。いつになるかわかりませんが、
りませんけど。ところで、ラビンさんも何か夢がありますか。

ラビン: いつか店を開くのが目標です。私の店で多くのお客さんにおいしい料理を食べてもらいたいです。そのために、日本の人が気に入ってくれるのはどんな味か、日本の料理を食べたり、作ったりして、いろいろ試しています。

やまもと けんきゅうねっしん りょうり ながて
山本 : へえ、研究熱心ですね。ネパール料理はおいしいですが、スパイスが苦手な人もいますね。それにしても、料理の話をするラビンさんはいきいきして見えますよ。

ラビン: そうですか。りょうり つく す
料理を作るのが好きなんです。まだまだ勉強中ですけどね。

やまもと ゆめ
山本 : 夢がかなうといいですね。ラビンさんが店を開いたら、必ず食べに行きますよ。

ラビン: はい、食べに来てもらえるようにがんばります。ぼく やまもと おおさか
僕も山本さんが大阪マラソンに出るときは、絶対応援に行きますよ。

やまもと ほんとう かんそう はし
山本 : 本当ですか。これは完走しないわけにはいきませんね。やっと3キロ走れたばかりで、ゴールは遠いけど、お互いにチャレンジですね!

かいわ あ ぶん あ ぶん か
☆会話と合っている文に○、合っていない文に×を書きましょう。

1. () やまもと きのう はし
山本さんは昨日3キロ走りました。
2. () やまもと おおさか で
山本さんは大阪マラソンに出たことがあります。
3. () やまもと まいにち
ラビンさんは山本さんと毎日ジョギングしています。
4. () にほん ひと き い りょうり つく おも
ラビンさんは日本の人が気に入る料理を作りたいと思っています。
5. () やまもと いっしょ みせ ひら
ラビンさんと山本さんは一緒に店を開きます。

〈読んでみよう〉

☆次の文を読んで、質問に答えましょう。

ラビンさんはにほんごきょうしつへいくとき、やまもとさんにあいました。やまもとさんはきんにくつうだそうで、あしがいたそうでしたが、ラビンさんに2、3にちでなおるはずだから、しんぱいしないでいいといいました。

やまもとさんはさいきんジョギングをはじめました。とてもゆっくりですが、きのうはじめて3キロはしれました。やまもとはもっとはしるれんしゅうをして、いつかおおさかマラソンでかんそうしたいとおもっています。

ラビンさんはネパールりょうりのみせで、りょうりをつくっています。そして、いつかじぶんのみせをひらくことをめざしています。それで、ラビンさんは、みんながおいしいといってくれるようなりょうりをだしたいとおもって、にほんのりょうりをたべたり、つくったりして、あじのけんきゅうをしています。

やまもとは、しょうらいラビンさんがひらくみせにいて、ラビンさんのりょうりをたべたいとおもいました。ラビンさんは、やまもとさんがおおさかマラソンにでたら、おうえんにいきたいとおもいました。ふたりはおたがいにチャレンジしようとやくそくしました。

1. 山本さんはどうして走る練習をしていますか。

2. ラビンさんはどんな仕事をしていますか。

3. ラビンさんは夢をかなえるために、どんなことをしていますか。

☆漢字を使って、文を書き直しましょう。

〈使ってみよう〉

☆例を見て、文を作りましょう。

1. ~はず

例 筋肉痛だから、2、3日で治るはずですよ。

_____から、_____はずですよ。

2. ~といっても

例 料理ができるといっても、目玉焼きぐらいですよ。

_____といっても、_____。

3. ~わけにはいかない

例 マラソンの応援に大勢の友達が来てくれるので、完走しないわけにはいきません。

_____ので、_____わけにはいきません。

〈インタビューしよう〉

☆友達や周りの人にインタビューしましょう。4と5は、質問を考えましょう。

1. 今、何か夢がありますか。
2. それはどんなことですか。
3. いつまでにその夢をかなえたいですか。
- 4.
- 5.

〈書いてみよう〉

☆質問の答えをまとめて、300字ぐらいの文を書きましょう。

付 録

〈話してみよう〉漢字かな交じり文（ふりがななし）

〈読んでみよう〉漢字かな交じり文

学習項目一覧

各課の解説・動詞の形・丁寧形と普通形

索引

〈話してみよう〉漢字かな交じり文(ふりがななし)

〈読んでみよう〉漢字かな交じり文

第1課 名前 〈話してみよう〉

田中 : はじめまして。田中です。田中真と言います。よろしくお願いします。

ラビン : はじめまして。ラビンドラ・マハルジャンです。よろしくお願いします。

田中 : ラビンドラ・マハルジャンさんですか。どこから来ましたか。

ラビン : あ、ネパールです。ネパールのカトマンズから来ました。

田中 : ネパールですか。お名前は何と呼ばばいいですか。

ラビン : 「ラビン」と呼んでください。「ラビン」が自分の名前で、「マハルジャン」は家族の名前です。

田中 : そうですか。ラビンさん、家族の名前は「姓」、自分の名前は「名」と言います。

ラビン : 姓と名ですか。田中さんは、「田中」が姓ですね。日本の名前は、ネパールの名前と順番が逆ですね。「まこと」はどんな意味ですか。

田中 : 「真」は、「真実」という意味ですよ。わかりますか。

ラビン : しんじつ…、「本当」という意味ですか。

田中 : ええ、そうです。「本当のこと、うそじゃない」という意味です。

ラビン : なるほど。いい名前ですね。

第1課 名前 〈読んでみよう〉

ラビンドラ・マハルジャンさんは、1年前にネパールのカトマンズから大阪へ来ました。今、ネパール料理のレストランで料理を作っています。ときどき言葉がわからなくて、困ることがあるので、日本語教室で勉強することにしました。

ラビンさんは日本語教室で、勉強を手伝ってくれる田中真さんを紹介してもらいました。年が上の人だったので、ラビンさんは最初少し緊張して、ドキドキしながら、あいさつをしました。でも、田中さんはにこにこして、名前の呼び方を尋ねてくれたので、すぐに仲良くなりました。

ラビンさんと田中さんは、ネパールと日本の名前の順番について話しました。そして、田中さんの名前の意味について話しました。「真」という名前は、「真実」という意味です。ラビンさんはとてもいい名前だと思いました。

第2課 日本語の学習〈話してみよう〉

リタ：キムさん、ちょっと教えてもらいたいんですが、これ…。

キム：はい、何ですか。ああ、学校からね。保護者面談のお知らせですよ。

リタ：ああ、保護者面談…。いつですか。

キム：来週火曜日です。

リタ：火曜日か、また夫に行ってもらいます。本当はあまり迷惑かけたくないけど…。

キム：そんな、ご主人は迷惑だなんて思っていませんよ。娘さんのことですからね。

リタ：でも、私は学校のお知らせも読めないし、先生の話も難しくてわからないし…。質問したり、相談したりする人がほかにいませんから、いつも夫に、ね…。

キム：そうですか。それなら、PTA の活動に参加してみたらどうですか。保護者同士、仲良くなれるかもしれませんよ。

リタ：でも、もっと日本語がペラペラになって、漢字も読めるようにならないと…。

キム：今も上手ですよ。漢字はノートに書いて練習したらいいです。手伝いますよ。

リタ：ありがとうございます。日本語が上手になったら、仕事もしたいんです。

キム：へえ、どんな仕事ですか。

リタ：介護ヘルパーです。

キム：それはいいですね。漢字の勉強も仕事の役に立ちますね。一緒にごんばりましょう。

第2課 日本語の学習〈読んでみよう〉

リタさんは小学生の娘がいます。小学校からお知らせをもらいましたが、よくわからなかったので、キムさんに見てもらいました。それは、保護者面談のお知らせでした。来週火曜日に学校へ行って、先生と、娘のことを話します。リタさんは夫に行ってもらうことにしました。日本語がわからないかもしれないと心配だったからです。

リタさんは、いつも夫に頼んでしまうので、悪いと思っています。でも、ほかに相談する人がいません。キムさんはそれを聞いて、PTAの活動に参加してみることを勧めました。でも、リタさんはもっと日本語が上手にならないといけないと答えました。リタさんは日本語がペラペラになって、漢字も読めるようになりたいと思っています。そして、介護ヘルパーの仕事がしたいと言っています。キムさんはリタさんの漢字の勉強を手伝おうと思っています。

第3課 大切な人〈話してみよう〉

山本 : サリムさん、そのスマホの写真、お子さんですか。

サリム : ええ、そうです。息子です。

山本 : うわあ、かわいい! 目が大きくて、くりくりしていますね。お名前は?

サリム : ジョジョです。私が日本へ来たのは、この子が生まれる前だったんです。

山本 : えっ、そうなんですか。ジョジョくんはいくつですか。

サリム : 1歳8か月です。毎週土曜日、スマホで妻と話しますが、そのとき、この子の顔を見るのが楽しみなんです。生まれたばかりのときは、寝ているだけでしたが、よく笑うようになって、歯も生えてきました。もうよちよち歩くようになったんですよ。

山本 : へえ、元気にすくすく育っていますね。でも、家族とずっと離れて暮らしているなんて、寂しいでしょう。

サリム : 実は、私は日本へ来ることが決まってから結婚したんです。だから、妻とはあまりゆっくり話したことがなくて、どんな話をしたらいいかわからないんです。

山本 : まだ新婚みたいですね。早く一緒に暮らせるようになったらいいですね。

サリム : ええ、早く息子に会いたいです。山本さんのスマホの写真は誰ですか。

山本 : これ? 韓国のアイドルです。今晚も家に帰って、この人のドラマを見ます。

第3課 大切な人〈読んでみよう〉

山本さんは、サリムさんのスマホの写真が息子のジョジョ君だと知りました。ジョジョ君は今1歳8か月で、サリムさんが日本へ来てから生まれました。サリムさんはまだ息子に会ったことがないので、妻とスマホで話すとき、顔を見るのを楽しみにしています。生まれたばかりのときは、寝ているだけでしたが、よく笑うようになって、歯も生えました。そして、もう歩くようになりました。息子はどんどん大きくなっています。サリムさんは、早く息子と会いたいと思っています。

サリムさんは日本へ来ることが決まってから結婚したので、妻とはあまり一緒に暮らせませんでした。だから、あまりゆっくり話したことがなく、どんな話をしたらいいかわからないと言っています。山本さんは、サリムさんが早く家族と一緒に暮らせるようになったらいいと思っています。サリムさんにとって奥さんと息子さんはとても大切なのだと、山本さんは思いました。

第4課 ほっと一息〈話してみよう〉

タン：ありがとうございました。じゃあ、また来週。

田中：はい、また来週。今日はこれからどこかへ行くんですか。

タン：ええ、ちょっと、コンビニへ…。

田中：コンビニ？ タンさんはよくコンビニへ行きますね。コンビニが好きですか。

タン：まあ、そうですね。ついふらっと寄ってしまいます。仕事の日には夜遅くなるので、家に帰る前に、コンビニに行きます。それで、習慣になってしまって…。

田中：そうですね。仕事が終わった後、晩ご飯を買って帰るんですか。

タン：いいえ、だいたいお菓子や飲み物ですね。特に買う物を決めているわけじゃないんです。コンビニにはいろいろな物が並んでいるから、何を買おうかなとか、これは新しい商品かなとか考えながら、選ぶのが楽しいんです。

田中：なるほど。タンさんにとってコンビニは一日の終わりにほっと一息つける場所なんですね。

タン：そうかもしれません。暗い通りでも、コンビニは明るいし、中に入ると、暖かくて、なんかほっとするんです。田中さんはどんなとき、ほっとしますか。

田中：ん、私は本屋にいるときかな…。あの本の匂いが落ち着きますね。それから、風呂から上がってビールでも飲みながら、ぼうっとテレビを見てるときも、ですね。

第4課 ほっと一息〈読んでみよう〉

タンさんは、これからコンビニへ行こうと思っています。毎日、仕事の後でコンビニへ行くので、それが習慣になっているのです。タンさんがコンビニへ行くのは、晩ご飯を買うためではありません。特に買う物を決めているわけではなく、明るいコンビニの店の中を歩いて、何を買おうかなとか、これは新しい商品かなとか考えながら、選ぶのが楽しいのです。

田中さんは、タンさんにとって、コンビニはほっと一息つける場所だと言いました。タンさんもそうかもしれないと思いました。タンさんは田中さんにほっと一息つけるのはどんなときかと尋ねました。田中さんは本屋にいるときだと言いました。本の匂いを嗅ぐと落ち着くからです。それから、風呂から上がってビールを飲みながらぼうっとテレビを見るときもほっとすると答えました。

第5課 気づいたこと・驚いたこと〈話してみよう〉

リタ：(エレベーターで)あ、山本さん、早く、早く。下りますよ。

山本：あ、はい、ちょっと待って。ああ、すみません。助かりました。

リタ：いいえ、どういたしまして。やっぱり山本さんも「すみません」って言うんですね。

山本：え、「すみません」？

リタ：ええ、私だったら、「ありがとう」と言います。でも、「助かりました」という言葉は大好きです、日本らしくて。

山本：日本らしい、ですか。

リタ：ええ、いつも人の気持ちを考えているでしょ。私、日本に来たばかりのころ、旅行に行っただけです。旅館で朝ご飯に生の卵が出たので、食べずに残したら、次の朝、私だけゆでた卵が出てきたので、びっくりしました。本当にすごいです。

山本：それは良かったですね。サービスは気配りが大切ですよ。

リタ：そう、それ、気配り。でも、気配りをしすぎるのも良くないなって思うこともあります。

山本：へえ、どんなことですか。

リタ：お年寄りがね、私が席を譲るたびに、「すみません」って…。それを聞くと、ちょっと悲しくなります。私の国では当たり前のことだから、お年寄りも「すみません」なんて言って、ぺこぺこしません。だから、「ありがとう」でいいと思います。

山本：なるほど。確かに「ありがとう」のほうが気持ちがいいですね。

第5課 気づいたこと・驚いたこと〈読んでみよう〉

リタさんは、エレベーターで下りようとしたとき、山本さんが来たので、待ってあげました。山本さんが「すみません。助かりました」と言ったので、リタさんは、日本らしい言い方だと思いました。日本では、気配りを大切にしているからです。リタさんは、旅行に行ったときの話をしました。朝ご飯で生の卵を食べずに残したら、次の朝、リタさんにだけゆでた卵が出てきたので、日本の気配りはすごいと思いました。

しかし、気配りをしすぎるのは良くないと思っています。電車でお年寄りに席を譲るたびに、お年寄りはいつも「すみません」と言います。それを聞くと、リタさんは悲しくなります。リタさんの国ではお年寄りに席を譲るのは当たり前のことだから、お年寄りも「すみません」とは言いません。リタさんは、人の気持ちを考えすぎて「すみません」と言うより、「ありがとう」と言ったほうがいいと思っています。

第6課 災害〈話してみよう〉

キム : 昨日の夕方、揺れましたよね。ラビンさんは、どこにいましたか。

ラビン : エレベーターに乗ろうと思って、待っていたときでした。とても怖かったです。

キム : 本当にね。そう言えば、何年か前にネパールで大きな地震がありましたよね。

ラビン : ええ、そうです。あのときのことを思い出しました。最初の地震の後も余震が続いていて、家が崩れそうだったので、外に出たんです。外は雨がしとしと降っていましたが、妻と二人で子どもたちを抱いて、一晩中外に立っていました。

キム : 大変な目に遭いましたね。辛かったですでしょう。

ラビン : ええ、もうだめかと思いました。もし、あんな地震が日本で起きた場合、どうしたらいいんでしょうか。日本語ができないし、とても心配です。

キム : 外国人のためにいろいろな言葉で生活情報を伝えているセンターがあります。災害が起きたときの避難場所やそのほかの情報を教えてくださいますよ。

ラビン : そうですか、調べてみます。

キム : 私は、水や非常食を買って、置いています。避難用のかばんもあります。

ラビン : そうですね。さっと持ち出せるように、必要な物を詰めておくといいですね。

キム : それから、地震が起きたときにどうするか、家族で話し合っておいたほうがいいですよ。

ラビン : なるほど、そうしておけば安心ですね。

第6課 災害〈読んでみよう〉

キムさんとラビンさんは、昨日の夕方、地震があったときのことを話しています。そのとき、ラビンさんはちょうどエレベーターを待っていました。ラビンさんはとても怖かったと言っています。そして、何年か前にネパールで起きた、大きい地震のことを思い出しました。ラビンさんは、余震で家が崩れるのが怖くて、家の外に出ました。外は雨が降っていましたが、それでも、妻と二人で子どもたちを抱いて、一晩中外に立っていたそうです。

ラビンさんは、もし、ネパールで起きたような地震が日本で起きた場合、どうしたらいいかと心配しています。キムさんは、外国人のためにいろいろな言葉で生活情報を伝えているセンターがあること、災害が起きたときの避難場所などの情報を教えてくれることを伝えました。キムさんは、水や非常食を買って置いておいたり、避難用のカバンを準備したりしているそうで、ラビンさんにも勧めました。それで、ラビンさんは、必要な物をかばんに詰めておこうと思いました。それから、キムさんは、地震が起きたときにどうするか、家族で話し合っておいたほうがいいと伝えました。

第7課 SNS(ソーシャル・ネットワーキング・サービス)〈話してみよう〉

アン：田中さん、再来週の「にほんごお茶会」のことなんですけど、今回は田中さんも準備の係ですよ。

田中：ええ、そうですよ。キムさんとタンさんもメンバーです。今回は皆さんが国の食べ物を持ってきてくれるんですよ。どんな物が出てくるか、わくわくしますね。

アン：ふふ、田中さんは料理のことしか考えていませんね。食べ物のこと以外、まだ何も決まっておらず、ちょっと心配です。帰るときはみんなバタバタして話せないのも、このアプリでやり取りしたいんですけど、入ってます？

田中：え、ああ、入ってますよ。でも、使ったことはないなあ…。何となく、自分の情報が知らない人に伝わるのがいやで…。

アン：それはだいじょうぶです。私たち係の人だけでグループを作りますから。このアプリでやり取りすれば、教室で会わなくても打ち合わせできますよ。

田中：これはメールみたいなものですか。

アン：メールというよりチャットですね。1対1でメッセージの交換もできるし、複数の人と同時にやり取りすることもできます。それに、無料で会話やビデオ会議もできます。

田中：ええっ、すごい！ 便利ですね。

アン：サリムさんも国の息子さんとこれで話しています。それに、地震や災害のときも使えるので、いいですよ。おすすめです。

田中：それなら使ってみようかな…。どうすればいいんですか。

アン：ええっと、まず…。

第7課 SNS(ソーシャル・ネットワーキング・サービス)〈読んでみよう〉

この日本語教室では再来週「にほんごお茶会」を行います。今回はみんなが何か食べ物を持ってくることになっているので、田中さんは楽しみにしています。

お茶会を準備する係はアンさん、タンさん、キムさん、田中さんです。まだ、食べ物以外のことが決まっていないので、アンさんは心配しています。係の人たちと相談したいと思っていますが、教室ではゆっくり話せないのも、アンさんは田中さんにアプリでやり取りすることを提案しました。しかし、田中さんはそのアプリを使ったことがありません。自分の情報が知らない人に伝わるのがいやだからです。それで、アンさんは田中さんに、係の人だけでグループを作るので、問題ないと伝えました。そして、係の人とアプリでやり取りすれば、教室以外の時間でも相談ができると勧めました。さらに、アプリの便利な使い方を説明したので、田中さんも使ってみることにしました。それで、アンさんは田中さんに使い方を教えてあげました。

第8課 自慢の料理〈話してみよう〉

アン: キムさん、あしたうちで、来週国へ帰る友達のためにパーティーをするんですけど、どんな料理を作ったらいいと思いますか。

キム: そうですね。チヂミなんかどうですか。簡単ですよ。韓国では雨の日に食べる料理だと言われています。雨の日は買い物に行きたくないでしょう。だから家にある小麦粉と野菜で作ったんだそうです。

アン: へえ、どんな料理なんですか。

キム: お好み焼きに似ています。ニラとえびとごま油があれば、海鮮チヂミになりますよ。チヂミが出来上がったら、しょうゆと酢とコチュジャンで作ったピリ辛のたれをつけて食べます。

アン: へえ、おいしそうですね。教えてください。

キム: ええ、いいですよ。はじめに、野菜を食べやすい大きさに切ります。それから、ボウルに小麦粉と水を入れて、さっと混ぜます。それから、その中に切っておいた野菜とえびを入れて、よく混ぜます。次にフライパンを火にかけて、ごま油を入れて、熱くなったら、材料を薄く伸ばして、表面をカリッと焼くんです。

アン: うちにホットプレートがあるんですけど、ホットプレートで焼いてもいいですか。

キム: ええ、いいですよ。みんなでジュージュー焼きながら、あつあつのチヂミを食べたらきっと楽しいと思います。

アン: 良かった。友達が国へ帰ったら、めったに会えなくなるので、楽しいパーティーにしたいんです。ありがとう、やってみます。

第8課 自慢の料理〈読んでみよう〉

あした、アンさんは、うちでパーティーをします。アンさんの友達が国へ帰るからです。アンさんはパーティーで出す料理について、キムさんに相談しました。キムさんは、チヂミという料理を教えてくださいました。チヂミは韓国の料理で、雨の日によく作って食べるそうです。雨の日は買い物に行きたくないの、家にある材料でチヂミを作ったそうです。

チヂミはお好み焼きに似た料理です。ニラとえびとごま油を使えば、海鮮チヂミが出来ます。はじめに、野菜を食べやすい大きさに切ります。次に、ボウルに小麦粉と水を入れて、さっと混ぜます。それから、その中に野菜とえびを入れて、よく混ぜます。次に、フライパンを火にかけて、ごま油を入れて、熱くなったら、その上に材料を薄く伸ばして焼きます。表面がカリッと焼けたら、出来上がりです。しょうゆと酢とコチュジャンで作ったピリ辛のたれをつけて食べます。ホットプレートでも焼けます。

第9課 ふるさと大阪〈話してみよう〉

キム: ずいぶん急いでいますね。ずっとそわそわしていたし、今日は何かあるんですか。

タン: ええ、あしたはベトナムのお正月ですから、これから八尾に行くんですよ。

キム: えっ、八尾? 何かあるんですか。

タン: 八尾にはベトナムの人がたくさん住んでいるので、ベトナムの店が多いんです。

キム: そうですか、はじめて聞きました。これからお正月のお祝いをするんですか。

タン: ええ、今晚ベトナムの友人たちと集まって、ごちそうを食べながら、ワイワイ話したり、お酒を飲んだりするんです。だから、朝からうきうきしてるんです。

キム: いいですね。楽しそう…。ベトナム料理のレストランがあるんですか。

タン: ええ、レストランやカラオケ、食料品や雑貨の店もあります。まるでベトナムにいるような気分になりますよ。

キム: 八尾にベトナムの人の町があるんですね。私も行ってみたいなあ…。

タン: ええ、今度案内しますよ。日本に来たばかりのころは、知らなかったのも、お正月もつまらなかったんですが、今はベトナムにいたころと同じくらい楽しみです。

キム: 良かったですね。ところで、大阪には「コリアタウン」もあります。知っていますか。

タン: へえ、「コリアタウン」ですか。

キム: 実は、私たちも今晚お正月のお祝いをするんです。みんな夜中まで騒ぎますよ。

タン: やっぱりお正月は大切ですよ。でも、大阪にはいろいろな町があるんですね。

キム: ええ、大阪と言えば、大阪城が有名ですが、観光地だけでなく、ほかにもおもしろい所がたくさんありますよ。

タン: そうですね。僕もいろいろな所に出かけて、もっと大阪のことを知りたいです。

第9課 ふるさと大阪〈読んでみよう〉

タンさんは、今日はそわそわして、あまり勉強に集中できない様子でした。それで、キムさんがタンさんに尋ねたところ、タンさんはこれから八尾市へ行くとのことでした。あしたはベトナムのお正月だから、今晚は友人たちとお祝いをするそうです。それで、タンさんはうきうきして、早く帰りたと思っていたのです。

キムさんは、八尾市にベトナムの人がたくさん住んでいることを知らなかったのも、タンさんにいろいろ聞いてみました。ベトナム料理のレストランやカラオケ、食料品や雑貨の店などがあるそうで、そこへ行くと、まるでベトナムにいるような気分になるそうです。キムさんは、ベトナムの人の町に興味を持ったので、今度タンさんに案内してもらうことにしました。タンさんは、この町のことを知る前はお正月もつまらないと思いましたが、今はとても楽しみにしています。

キムさんは、タンさんの話を聞いて、コリアタウンがあることを話しました。そして、有名な観光地だけでなく、ほかにもおもしろい所があると言いました。それで、タンさんは、いろいろな所に出かけて、大阪のことをもっと知りたいと思いました。

第 10 課 旅行〈話してみよう〉

山本：わあ、おしゃれなスマホケースですね。

アン：あ、これね。この間の 3 連休に金沢へ行って、そのとき買ったんです。

山本：金沢ですか、いいなあ…。友達と、ですか。

アン：いいえ、友達は仕事だったから、一人で…。

山本：えっ、一人旅？ 私はしたことないんですけど、一人旅ってさびしくないですか。

アン：いいえ、全然。行く前からもうわくわくして、楽しいですよ。まず、行き先を決めて、旅行の計画をします。それから、おいしい食べ物とか、おしゃれな雑貨屋さんとかをインターネットで探すんです。

山本：友達と一緒に旅行の計画を立てるのも楽しいですよ。

アン：もちろん、それはそうですけど、誰かと一緒だと、例えば、美術館へ行きたくても、ほかの人が行きたくなかったら、行けませんよね。それに比べて、一人旅はしたいことが何でもできるし、計画した通りにしなくても、誰も文句を言いません。

山本：そうか、自由ですね。でも、ずっと一人で話す相手もないんでしょ。

アン：そんなことないですよ。私は金沢でよく道に迷って人に聞きましたけど、みんな親切でした。それから何気なく寄った店でこのスマホケースを見つけたんです。店の人と 30 分くらい話して、ついでに地元の料理の店を教えてくださいました。

山本：へえ、そうなんですか。意外に人と話す機会があるんですね。

アン：いろいろな人と出会いましたよ。知らない町をてくてく歩いておいしい物を食べたり、きれいな海を眺めたり…。おかげで時間を忘れて、すっかりリフレッシュできました。

山本：へえ、いいですね。私も行ってみようかな…。おすすめの場所を教えてください。

第 10 課 旅行〈読んでみよう〉

山本さんはアンさんが持っているスマホケースを見て、おしゃれだなと思いました。それはアンさんが一人旅をして、金沢で買ったものです。山本さんは一人旅をしたことがなかったもので、アンさんに一人旅について聞きました。

アンさんは一人旅が好きです。旅行に行く前に計画を立てて、インターネットでおいしい食べ物やおしゃれな雑貨屋さんを探しました。行く前からわくわくして、楽しかったと言っています。そして、誰かと一緒だと、みんなが行くと言わなければ、自分の行きたいところへ行けませんが、一人旅は何でもできると言っています。

アンさんは金沢で道に迷ったとき、人に聞きましたが、みんな親切だったそうです。何気なく寄った店で、スマホケースを買いました。そして、店の人と 30 分くらい話して、ついでに地元の料理を出す店を教えてくださいました。知らない町を歩くのも楽しかったし、おいしい物を食べたり、海を眺めたりして、時間を忘れ、リフレッシュすることができました。山本さんは、一人旅に興味を持って、行ってみたいと思いました。そして、アンさんにおすすめの場所を教えてくださいました。

第 11 課 人との付き合い〈話してみよう〉

田中 : サリムさん、なんか今日は元気がありませんね。どうしたんですか。

サリム : え、そうですか。そんなこと、ありませんよ。

田中 : 何かあったのなら、遠慮なく言ってくださいよ。

サリム : いや、実は、昨日と今朝と、2 回も大家さんに注意されてしまって…。

田中 : 注意って、どんな？ 何か、あったの？

サリム : 昨日はごみの捨て方が悪かって。ちゃんと分別してくださいって言われました。

田中 : ああ、燃えるごみとか、燃えないごみとかね。面倒だけど、それはやらなくちゃね。

サリム : ええ、もちろん、それはわかります。それと、今朝はね、僕の家は 1 階なんですけど、よく猫が来るんで、ちょっと食べ物をやってたら、また注意されたんです。

田中 : ああ、そうだよな。猫が家の周りをうろうろしたら、嫌がる人もいるからね。

サリム : そうですね。でも、小さい猫でかわいそうだったから、つい…。まあ、ごみのことも猫のことも自分が良くなかったと思いますが、なんかいつも見られているようで…。

田中 : 見られている？ 誰に？ 大家さんですか。

サリム : ん、ま、大家さんもそうだし、近所の人たちにも…。よく「昨日来た人はお友達？」とか、「一晩中洗濯物を干したままでしたよ」とか、いろいろ言われます。僕の誤解かもしれないけど、なんか、最近ちょっとストレスですね。

田中 : そうか、なるほど。悪気はないと思うんですけどね。

サリム : 僕が外国人だから、ですよ。しょうがないです。

田中 : いや、サリムさんのことを気にしているんじゃないかな…。もっと話してみたら？

サリム : そうですね。

第 11 課 人との付き合い〈読んでみよう〉

今日はサリムさんの様子がいつもと少し違ったので、田中さんが心配して理由を尋ねてみたところ、サリムさんは、大家さんから昨日と今朝、2 回も注意されたとのことでした。昨日はごみの捨て方が悪かったので、「ちゃんと分別してください」と言われました。そして、今朝は、猫に食べ物をやっているとき、注意されました。サリムさんは自分が良くなかったと思っていますが、大家さんや近所の人たちにいつも見られているような気がしています。そして、それがストレスだと言っています。

田中さんは、「大家さんや近所の人たちに悪気はなく、ただサリムさんのことを気にかけているだけだ」と言いました。でも、サリムさんは、みんながいろいろ言うのは、自分が外国人だからだろうと思っています。そして、それはしょうがないことだと考えています。それを聞いて、田中さんは、「大家さんや近所の人たちともっと話してみたほうがいい」と言っています。

第12課 健康〈話してみよう〉

キム : サリムさん、こんにちは。先週、教室を休んでいましたが、何かあったんですか。

サリム : インフルエンザだったんです。熱を測ってみたら、39度1分もあって、頭がずきずきするし、咳と鼻水が止まらなくなるし、…。

キム : それは大変でしたね。でも、サリムさんが病気になるなんて、珍しいですね。

サリム : ええ、僕もびっくりしました。病気なんて、めったにかかりませんから。最近、特に残業が多くて、家に帰るのが遅かったんです。しかも、出勤時間が早かったんで、寝不足になってしまって…。

キム : 睡眠は大切ですよ。食事はちゃんと3食とってる？

サリム : いや、朝は少しでも長く寝ていたくて、朝ご飯を抜くことも多かったんです。

キム : そう、それで疲れが出たんでしょう。インフルエンザの予防接種はしなかったの？

サリム : ええ、注射はきらいだし、お金もかかりますから。でも、しとけばよかったです。注射をしとけば、症状はもう少し軽かったかもしれません。それに、感染するから外に出るはいけないって言われて、5日間ずっと一人で家にいたんです。

キム : そうですか。それは心細かったでしょう。

サリム : でも、大家さんがちょくちょく見に来てくれましたから、助かりました。

キム : 病気になって初めて健康の大切さに気づきますよね。私も前に入院したことがあってね。それからは健康のために6時間以上寝て、毎朝1時間歩いて、旬の物を食べるようにしています。

サリム : へえ、さすがキムさん、それでいつも元気なんだ。僕もこれからは規則正しい生活をして、栄養のある物を食べて、体調管理に気をつけるようにします。

第12課 健康〈読んでみよう〉

サリムさんは、先週インフルエンザで日本語教室を休みました。熱が39度1分も出て、頭もずきずきして、咳と鼻水が止まりませんでした。今まであまり病気にかかったことがないサリムさんは、インフルエンザになってびっくりしました。最近、残業が続いて、家に帰るのが遅い上、出勤時間が早くて、寝不足になってしまったから病気になったのだろうと、サリムさんは思いました。朝ご飯を抜くことも多かったので、それも良くなかったと思っています。そして、サリムさんは予防接種をしていませんでしたから、していたら、症状がもっと軽かったのではないかと考えています。インフルエンザはほかの人に感染するから、サリムさんは5日間くらい外に出ず、家にいました。

キムさんも前に入院したことがあります。それからは、健康のために、6時間以上寝て、毎朝1時間歩いて、旬の物を食べるようにしています。キムさんの話を聞いて、サリムさんは自分も規則正しい生活をして、栄養のある物を食べて、体調を管理しようと思いました。

第13課 お祭り〈話してみよう〉

山本：リタさんは日曜日に何をしましたか。

リタ：友達に誘われて、娘と一緒にお祭りに行きました。

山本：へえ、5月にお祭りって珍しいですね。日本でお祭りと言えば、夏か秋ですよ。例えば、大阪で有名なお祭りは「天神祭」ですが、7月にあります。

リタ：ええ、でも、この季節だと気候がいいから、のんびりできて、気持ち良かったです。

山本：リタさんが行ったのは、どこのお祭りですか。

リタ：「市民ふれあいまつり」というお祭りです。毎年5月の第2日曜日にあるそうです。一日中遊んで、くたくたになりましたが、楽しかったです。

山本：そうですか。良かったですね。何をして遊んだんですか。

リタ：パレードを見たり、ゲーム大会に参加したり、屋台で食べ物を買って食べたりしました。夜には花火もあって、楽しかったです。ほら、これがお祭りの写真です。

山本：へえ、にぎやかですね。娘さんものびのび楽しそうに遊んでいますね。

リタ：このお祭りは、伝統的なお祭りではなくて、市民が企画、運営する手作りのお祭りなんです。友達は毎年家族で行くそうですが、今年は企画・運営側のスタッフとして、走り回っていました。

山本：へえ、お祭りのスタッフなんておもしろそうですね。それにしても、すごい人ですね。店もたくさん出てるし…。

リタ：ええ、子どももいれば、お年寄りもいましたね。友達から、来年はぜひ手伝ってって頼まれました。歌でも踊りでもいいし、外国の料理も喜ばれるそうです。

山本：いいですね。リタさんが店を出すなら、私も来年、行ってみようかな…。

第13課 お祭り〈読んでみよう〉

山本さんはリタさんに、日曜日に何をしたか聞きました。リタさんは、友達に誘われて、娘と一緒にお祭りに行ったと言いました。お祭りでは、パレードを見たり、ゲーム大会に参加したり、屋台で食べ物を買って食べたりして、楽しかったそうです。山本さんはリタさんにお祭りの写真を見せてもらいました。写真の中でリタさんの娘はのびのびと楽しそうに遊んでいました。

そのお祭りは、伝統的なお祭りではなくて、市民によって企画、運営されているそうです。リタさんの友達は、毎年家族で行くそうですが、今年は、企画、運営側のスタッフとして走り回っていました。

そして、リタさんは友達に来年はぜひお祭りを手伝ってほしいと頼まれました。歌を歌ってもいいし、踊りを踊ってもいいし、料理を作って売ってもいいそうです。山本さんも、リタさんが店を出すなら、そのお祭りに行ってみようと思いました。

第14課 ボランティア活動〈話してみよう〉

タン：田中さんのかばん、ずっしりと重そうですね。

田中：ああ、これから子どもたちに本を読み聞かせるボランティアなんです。それで、おもしろそうな本を何冊か選んで持ってきたから…。

タン：へえ、田中さんはそんなボランティアもしているんですね。すごいです。どうしてボランティアを始めたんですか。何かきっかけがありますか。

田中：ん、定年後、家でごろごろしてたとき、友人に勧められたんですよ。始めてみると、よく「ありがとう」って言われてね。人の役に立っていると思うと、うれしくて…。

タン：何年ぐらい続けているんですか。

田中：もう5、6年になるかな…。今はやりがいを感じますよ。こちらが子どもたちから元気をもらっているほどです。

タン：いいですね。僕もボランティア、やりたいなあ…。

田中：そうですね。ぜひ一緒にやりましょう。でも、タンさんはどうして？

タン：僕は日本に来てから、いろいろな人のお世話になったんです。例えば、電気やガスの手続きとか宅配便の不在票とか…。紙を見ても全然わからなかったんですが、周りの人が親切に手伝ってくれたんです。

田中：簡単なことでも、外国にいと難しかったりしますからね。

タン：ええ。だから私もいつかほかの人にお返しがしたいって思ったんです。

田中：なるほど、そうですね。実は今、小学校や中学校に、外国にルーツのある子どもたちが大勢いるんですよ。ベトナムの人もありますよ。その子たちの勉強を見てあげたり、ベトナム語の本を読んであげたりしたら、喜ばれると思いますよ。

タン：本当ですか。ベトナム語でいいなら、自信があります。ぜひやらせてください。

第14課 ボランティア活動〈読んでみよう〉

田中さんのかばんが重そうだったので、タンさんが尋ねたところ、子どもたちに本を読み聞かせるボランティアをされていて、本を何冊か持ってきたとのことでした。タンさんは、田中さんがボランティアをしていることに興味を持って、田中さんにボランティアを始めたきっかけを聞いてみました。田中さんは、定年後に友人に誘われて始めたそうですが、今は子どもたちから、元気をもらってやりがいを感じています。

タンさんは自分もボランティアがしたいと思っていることを伝えました。田中さんが、タンさんにどうしてやってみたいのか聞いたところ、タンさんは日本に来たばかりのころ、人に助けってもらった話をしました。自分の国では簡単にできたことも一人でできず、困ったとき、周りの人が助けくれたのです。そのとき、タンさんはいつか自分もほかの人を手伝ってお返しがしたいと思いました。

田中さんは、タンさんにベトナムの子どもたちの勉強を手伝ったり、本を読んだりするボランティアを勧めました。タンさんはぜひやらせてくださいと答えました。

第15課 大人の夢〈話してみよう〉

ラビン：山本さん、足、どうしたんですか。大丈夫ですか。

山本：あ、わかりますか。昨日、走ったから、筋肉痛でちゃんと歩けなくて…。でも、2、3日で治るはずだから、心配しなくてもいいですよ。ありがとう。

ラビン：そうだったんですか。山本さん、走ってるんですか。

山本：ええ、最近、ジョギングを始めたんです。ジョギングといっても、めちゃくちゃゆっくりですよ。でも、昨日ははじめて3キロも走れたので、うれしかったです。

ラビン：すごいですね。運動は健康にいいですよ。

山本：そう、実は大阪マラソンに出て、完走するのが夢なんです。いつになるかわかりませんがね。ところで、ラビンさんも何か夢がありますか。

ラビン：いつか店を開くのが目標です。私の店で多くのお客さんにおいしい料理を食べてもらいたいです。そのために、日本の人が気に入ってくれるのはどんな味が、日本の料理を食べたり、作ったりして、いろいろ試しています。

山本：へえ、研究熱心ですね。ネパール料理はおいしいですが、スパイスが苦手な人もいますね。それにしても、料理の話をするラビンさんはいきいきと見えますよ。

ラビン：そうですか。料理を作るのが好きなんです。まだまだ勉強中ですけどね。

山本：夢がかなうといいですね。ラビンさんが店を開いたら、必ず食べに行きますよ。

ラビン：はい、食べに来てもらえるようにがんばります。僕も山本さんが大阪マラソンに出るときは、絶対応援に行きますよ。

山本：本当ですか。これは完走しないわけにはいきませんね。やっと3キロ走れたばかりで、ゴールは遠いけど、お互いにチャレンジですね！

第15課 大人の夢〈読んでみよう〉

ラビンさんは日本語教室へ行くとき、山本さんに会いました。山本さんは筋肉痛で、足が痛そうでしたが、ラビンさんに2、3日で治るはずだから、心配しなくていいと言いました。

山本さんは最近ジョギングを始めました。とてもゆっくりですが、昨日初めて3キロ走れました。山本さんはもっと走る練習をして、いつか大阪マラソンで完走したいと思っています。

ラビンさんは、ネパール料理の店で、料理を作っています。そして、いつか自分の店を開くことをめざしています。それで、ラビンさんは、みんながおいしいと言ってくれるような料理を出したいと思って、日本の料理を食べたり、作ったりして、味の研究をしています。

山本さんは、将来ラビンさんが開く店に行って、ラビンさんの料理を食べたいと思いました。ラビンさんは山本さんが大阪マラソンに出たら、応援に行きたいと思いました。二人はお互いにチャレンジしようと約束しました。

学習項目一覧

課	テーマ	この課で伝え合うこと	新しい言葉	使ってみよう
1	名前	名前にどんな意味があるか、誰につけてもらったかなど、自分の名前について説明しましょう。	1.ドキドキ(する) 2.にこにこ(する) 3.仲良く	1.~ばいい 2.~という意味だ 3.~ことにする
2	日本語の学習	どうして日本語を学習しているか、どんなことを学習したいかなど、日本語の学習について相談しましょう。	1.迷惑(な)(する) 2.ペラペラ 3.得意(な)	1.~てもらいたいんですが 2.~たらどうか 3.~ようになる
3	大切な人	家族や友達など、大切な人を紹介しましょう。	1.連絡(する) 2.離れる 3.どんどん	1.~てくる 2.~たばかり 3.~にとって
4	ほっと一息	忙しい毎日の中で、ほっと一息つく自分だけの時間について伝え合いましょう。	1.つい 2.特に 3.ぼうっと(する)	1.~とか、~とか 2.~わけではない 3.~ため
5	気づいたこと・驚いたこと	日本の生活の中で気づいたことや驚いたことを伝え合いましょう。	1.気づく 2.驚く 3.ぺこぺこ(する)	1.~たびに 2.~なんて 3.~(よ)うとする
6	災害	災害が起きたとき、どうすればいいか、どんな準備をしておけばいいかなど、災害のときに役に立つ情報を伝え合いましょう。	1.~目に遭う 2.さっと 3.必要(な)	1.そう言えば 2.~場合 3.~ておく

7	SNS(ソーシャル・ネットワーキング・サービス)	どんなとき SNS を使うか、どう使ったら便利かなど、SNS の使い方について考えを伝え合いましょう。	1.わくわく(する) 2.なんとなく 3.バタバタ(する)	1.~のことなんですけど 2.~ば、~なくても 3.~というより
8	自慢の料理	どんな料理か、どうやって作るかなど料理について説明しましょう。	1.似る 2.カリッと 3.めったに(~ない)	1.~名詞(だ) 2.~と言われている 3.はじめに、~。次に、~。
9	ふるさと大阪	今住んでいる大阪のいろいろな場所や物や人などについて紹介しましょう。	1.そわそわ(する) 2.ワイワイ 3.うきうき(する)	1.~よう(な) 2.~と言えば 3.~たところ
10	旅行	旅行の思い出について伝え合いましょう。	1.この間 2.ついでに 3.すっかり	1.~通り 2.~ても、~たら 3.~てほしい
11	人との付き合い	人と人との関係の中で感じる様々なストレスや悩みについて伝え合いましょう。	1.ちゃんと 2.うろうろ(する) 3.うまくいく	1.~たまま 2.~ような気がする 3.~のは~からだ
12	健康	今の体調はどうか、どうやって体調を管理しているかなど、健康でいるための方法について伝え合いましょう。	1.ずきずき(する) 2.抜く 3.ちよくちよく	1.~て初めて 2.~ようにしている 3.~上
13	お祭り	神社や寺で行われる伝統的で有名な祭りや、地域の住民が中心になって開くイベントなど、様々な行事について紹介しましょう。	1.のんびり(する) 2.くたくた 3.のびのび(する)	1.~として 2.~も~ば、~も 3.~によって

14	ボランティア活動	ボランティア活動についてどう思うか、意見を伝え合いましょう。	<ul style="list-style-type: none"> 1.ずっしり 2.ごろごろ(する) 3.いつか 	<ul style="list-style-type: none"> 1.~ほど 2.~きっかけ 3.~(さ)せてください
15	大人の夢	子どものころの夢と大人になってからの夢について伝え合いましょう。	<ul style="list-style-type: none"> 1.めちゃくちゃ(な) 2.気に入る 3.やっど 	<ul style="list-style-type: none"> 1.~はず 2.~といっても 3.~わけにはいかない

各課の解説

第1課 名前

〈この課で伝え合うこと〉

名前の由来や込められた意味について、学習者と支援者の間で伝え合うことをめざします。各自の名前や意味を説明しようとする、どうしても言葉が難しくなり、言葉に詰まりがちになりますので、辞書を引くなどしながら、進めていただくといいでしょう。

〈新しい言葉を調べよう〉

1. ドキドキ(する)

心臓の音を表す擬音語です。「目と目が合って、ドキドキした」や「ドキドキして、話すことができなかった」など、理由とともに使われたり、結果を表す文が後ろに来たりします。

2. にこにこ(する)

擬態語で、後ろに来る動詞は「する」「笑う」「ほほえむ」などです。

3. 仲良く

「仲が良い」が「仲良く」となったもので、後ろは「する」「なる」などのほか、いろいろな動詞が使えます。

〈話してみよう〉

【解答】

1. ○ 2. ○ 3. ○ 4. × 5. ×

〈読んでみよう〉

【解答例】

1. ときどき言葉がわからなくて、困ることがあるからです。
2. 少し緊張してドキドキしていました。
3. ネパールと日本の名前の順番と田中さんの名前の意味について話しました。

〈使ってみよう〉

1. ~ばいい

方法や手段を問う言い方です。ほかに、「~たらいい」という言い方があります。「どこへ行けば／誰に聞けば／何をすれば／どうすれば」など、疑問の言葉を様々に置き換えると、いろいろな場面で方法や手段を尋ねることができます。答え方は様々ですが、ここでは同じ「~ばいい」を使って答える練習をします。答えるときには、「~ばいいです／~ばいいと思います」の形で提案や勧めを表します。

【解答例】

- A: さいふをなくしたとき、どうすればいいですか。
- B: 1階の事務所で聞いてみればいいと思います。

2. ～という意味だ

言葉や表現の意味を説明する言い方です。「という」の前は普通形（「丁寧形（です・ます）」に対する普通の形【例：食べます→丁寧形・食べる→普通形】）になります。

【解答例】

「優子」は優しい子という意味です。

3. ～ことにする

話し手自身の意志や判断で事前に決めたことを述べるときの言い方です。「こと」の前は、動詞の辞書形（辞書にある形）と『ない形』（「食べない」「言わない」など語尾に「ない」がつく形）になります。

また、「～ことにします」は、決めたその場で決めた内容を述べる言い方、「～ことになりました」は決めた人の意思が感じられず、結果のみを報告する言い方、「～ことにしています」は個人的な習慣を、「～ことになっています」はルールや規則を表す言い方です。ここでは、「～ことにしました」という形のみ限定して練習します。

【解答例】

風邪を引いたので、仕事を休むことにしました。

第2課 日本語の学習

〈この課で伝え合うこと〉

日本語の学習について、これまでどのぐらい、どんな学習をしたか、これからどんな学習をしたいか、それはどうしてかといった学習に関する目標や進め方を学習者と支援者の間で共有することをめざします。

〈新しい言葉を調べよう〉

1. 迷惑(な) (する)

名詞、『な形容詞』（名詞の前の形が『きれいな(花)』『元気な(子ども)』のように「な」になる語）としての使い方に加えて、「[原因]に迷惑する」という動詞としての使い方もあります。また、「[人]に迷惑をかける／がかかる」、「[人]の迷惑になる」といった一緒に使う動詞を紹介してもいいでしょう。

2. ペラペラ

擬音語で、「話す」という動詞とともに使われることが多いです。また、「[外国語]がペラペラになる」という言い方もあります。

3. 得意(な)

『な形容詞』で、反意語の「苦手」もともに紹介するといいいでしょう。初級で「上手」「下手」を習うので、これらを使う学習者が多いですが、日本語では直接的な言い方になることが多いので、「得意」「苦手」を使うことをすすめましょう。

〈話してみよう〉

【解答】

1. ○ 2. × 3. × 4. × 5. ○

〈読んでもみよう〉

【解答例】

1. お知らせをもらいました。
2. 日本語がわからないかもしれないと心配だったからです。
3. 介護ヘルパーの仕事がしたいと思っています。

〈使ってみよう〉

1. ～てもらいたいんですが

人に何かを依頼するときに、前置きの説明として自分の希望を述べる言い方です。「もらいたい」の前は動詞の『て形』（「着て」「書いて」など語尾が「て」で終わる動詞）です。

【解答例】

A: すみません。ちょっとこの帽子を見せてもらいたいんですが…。

B: はい、どうぞかぶってみてください。

2. ～たらどうか

人に何かを勧めたり、アドバイスしたりするときに使う表現です。答え方は、それに応じたり、応じられなかったりと、様々です。適切な応答ができるように支援しましょう。

【解答例】

A: 毎日少しずつノートに漢字を書いて練習したら、どうですか。

B: ええ、でも、なかなか時間が作れません。

3. ～ようになる

「～ようになる」は変化を表す言い方です。ここでは、「～ようになりたい」という形で目標を述べる練習をします。「ように」の前は可能動詞（「話せる」「言える」など可能を表わす動詞）の辞書形です。

【解答例】

私は日本語がペラペラ話せるようになりたいです。

第3課 大切な人

〈この課で伝え合うこと〉

家族や仲のいい友人など、自分が大切に思っている人について伝え合うことをめざします。出会ったきっかけ、なぜ大切な人になったかなど、具体的な人物像を伝えることができるといいでしょう。

〈新しい言葉を調べよう〉

1. 連絡(する)

「[人]に連絡する」または「[人]と連絡を取り合う」などの形があります。助詞に注意して練習しましょう。

2. 離れる

「[人]と離れる」「[場所]を／から離れる」のように、助詞の使い方に気をつけましょう。また、「家族と離れる／別れる」の違いは、「離れる」が別の場所に住むという意味で使われ、「別れる」は関係が途絶えるという意味になる点です。「分かれる」は「道が分かれている」のように、元は1つだった物が別々になるという意味です。

3. どんどん

変化が速いことを表す副詞です。変化を表す動詞(「変わる」「なる」など)や表現(「～てくる」「～ていく」など)とともに使われます。

〈話してみよう〉

【解答】

1. ○ 2. × 3. × 4. ○ 5. ○

〈読んでみよう〉

【解答例】

1. 息子はサリムさんが日本へ来てから生まれたからです。
2. 日本へ来ることが決まってから結婚したので、妻とはあまり一緒に暮らせなかったからです。
3. 山本さんは、サリムさんにとって大切な人は妻と息子だと思っています。

〈使ってみよう〉

1. ～てくる

「～てくる」は、主に①一度その場を離れてまた戻る行為(例:コンビニで飲み物を買ってくる)、②話し手に向かう行為(例:犬が飛びついてきた)、③変化の開始(例:歯が生えてきた)、④現在まで続いている行為(例:父はこの会社で30年働いてきた)を表します。この場合は、③の文を作りましょう。

【解答例】

たくさん歩いて、足が痛くなってきました。

2. ～たばかり

「～たばかり」は、正に「～ただけの状態、次の段階に進んでいないこと」を表します。「～たばかりだ」、「～たばかりなので、まだ～」、「～たばかりなのに、もう～」などの形で使われます。ここでは、「～たばかりのときは、～」という形で練習します。

【解答例】

仕事を始めたばかりのときは、何もわからなくて、困りました。

3. ～にとって

「[人]にとって、XはY」の形で使われ、「XはY」という考えや気持ちがある特定の人にのみ当てはまることを表します。

【解答例】

外国人にとって、敬語は難しいです。

第4課 ほっと一息

〈この課で伝え合うこと〉

一日の中で、最もくつろげるひとときについて共有することをめざします。また、忙しい毎日の中で、緊張を強いられるような場面やストレスを感じるようなことについても話題にできるといいでしょう。

〈新しい言葉を調べよう〉

1. つい

「本当はそれをしないほうがいい」「やってはいけないとわかっている」ことについて、「十分に注意せず、やってしまった」と言いたいときに、使います。文末が「～てしまった」と言う形で終わることが多いです。

2. 特に

複数の中から、または多くの可能性の中から1つに限定することを表すときに使います。

3. ぼうっと(する)

ほかのことを考えていたり、何も考えずリラックスしたりするときの様子を言います。「する」以外の動詞が使われることも多いです。

〈話してみよう〉

【解答】

1. × 2. ○ 3. × 4. ○ 5. ○

〈読んでみよう〉

【解答例】

1. 何を買おうかなとか、これは新しい商品かなとか考えながら、選ぶのが楽しいと言っています。
2. タンさんにとってコンビニはほっと一息つける場所だと言っています。
3. 本屋にいるときです。それから、風呂から上がってビールを飲みながらぼうっとテレビを見るときもほっとすると答えました。

〈使ってみよう〉

1. ~とか、~とか

会話の中でよく使われます。名詞と名詞、形容詞と形容詞、動詞と動詞を並べるときの言い方です。文と文を並べて言うときにも使われます。

【解答例】

大きい車を見ると、かっこいいとか、乗りたいとか思います。

2. ~わけではない

「[原因・理由]から、[状況]わけではない」の形で練習します。ある状況についての原因や理由を否定するときに使います。

【解答例】

外に出るのがいやだから、家にいるわけではありません。

3. ~ため

目的を表します。「名詞+のため」または「動詞辞書形+ため」という形で使われます。また、「動詞『た形』（「持った」「食べた」など語尾が「た」で終わる動詞）+ため」は、原因・理由を表す言い方になります。

【解答例】

新しいパソコンを買ったのは家で仕事をするためです。

第5課 気づいたこと・驚いたこと

〈この課で伝え合うこと〉

日本で生活する中で、気づいたことや驚いたことについて学習者に意見を述べてもらい、学習者と支援者がともにお互いの考え方や感じ方について理解を深めることをめざします。相手の文化にも、自身の文化にも興味、関心が持てるといいでしょう。

〈新しい言葉を調べよう〉

1. 気づく

「気がつく」という2つの語が「気づく」という語になりました。助詞は「に」ですが、その前に文が来るときは、「~のに気づく」という形になります。

2. 驚く

この動詞も「気づく」と同様、助詞は「に」です。その前に文が来るときは「～のに驚く」という形になります。

3. ぺこぺこ(する)

擬態語で、頭を下げ謝る様子を表します。「する」のほかには「謝る」「頭を下げる」などの動詞が使われます。

〈話してみよう〉

【解答】

1. ○ 2. ○ 3. × 4. ○ 5. ×

〈読んでもみよう〉

【解答例】

1. 日本では気配りを大切にしているからです。
2. 前の日の朝、リタさんが生の卵を食べずに残したら、リタさんだけゆでた卵が出てきたからです。
3. 「すみません」と言うのは人の気持ちを考えすぎていると思っているからです。

〈使ってみよう〉

1. ～たびに

「～ときはいつも～」と言うときに使います。「名詞+のたびに」または「動詞辞書形+たびに」の形で使われます。

【解答例】

チンさんは会うたびに、おもしろい話をしてくれます。

2. ～なんて

「～なんて」は、「～は」と同じように主題を表します。ある主題について、驚きや否定的な気持ちを表すときに使います。「なんて」の前は普通形です。「～なんか」も同様の使い方ですが、名詞とともに使われます。話し言葉では「～なんて／なんか」、書き言葉では「～など」が使われます。

【解答例】

車を買うなんて、できません。

3. ～(よ)うとする

何かをやりかけたことを表します。しかし、それができなかった場合にこの表現を使うことが多いです。「とする」の前は、動詞の意向形(「行こう」「食べよう」「来よう」「しよう」など)です。

【解答例】

電車の写真を撮ろうとしましたが、駅の人に「ここで撮ってはいけない」と言われたので、撮ることができませんでした。

第6課 災害

〈この課で伝え合うこと〉

日本はどこにいても自然災害に見舞われる可能性があります。日本語力に不安を感じる外国人も、災害の被害を最小限に抑えられるよう、防災の意識や備えが大切です。災害時の経験を伝え合うなど、有効な情報を共有をすることをめざします。

〈新しい言葉を調べよう〉

1. ～目に遭う

「つらい、怖い、ひどい、いやな」などの形容詞を伴い、良くない経験をしたことを意味します。

2. さっと

「短い時間に、簡単に、～する」という意味を表します。

3. 必要(な)

『な形容詞』ですが、「必要な+名詞」、「動詞辞書形+ことが必要だ」「動詞辞書形+必要がある／必要はない」など、様々な形で使われます。

〈話してみよう〉

【解答】

1. ○ 2. × 3. ○ 4. × 5. ○

※ネパールでは、2015年4月にマグニチュード7.8と推定される大地震が起きました。

〈読んでみよう〉

【解答例】

1. ラビンさんはちょうどエレベーターを待っていました。
2. 余震で家が崩れるのが怖かったからです。
3. 水や非常食を買ってストックしておいたり、避難用のかばんを準備したりしています。

〈使ってみよう〉

1. そう言えば

相手の話に関連付けて、話をさらに展開させるときに使います。

【解答例】

A: 昨日、駅の近くで、火事があったそうです。

B: そう言えば、ニュースに出ていましたね。

2. ～場合

普段と違う状況を表します。「場合」の前は普通形です。また、「名詞+の場合」、「『な形容詞』+な場合」の形で使われます。

【解答例】

地震が起きた場合、まず火を止めてください。

3. ～ておく

「ように」は目的を表し、可能動詞の辞書形やすべての動詞の『ない形』など状態を表す動詞とともに使います。「ために」も同様に目的を表しますが、これは動作を表す動詞の辞書形とともに使います。また、「～ておく」はある目的のために、あらかじめ準備することを表し、動詞の『て形』とともに使われます。

【解答例】

いつでも食べられるように、たくさん料理を作っておきます。

第7課 SNS(ソーシャル・ネットワーキング・サービス)

〈この課で伝え合うこと〉

コミュニケーションの手段としてよく使われる SNS について、日本語でも利用できるように情報を共有することをめざします。また、SNS を利用した場合の問題や気をつけるべき点などにも話題を広げられるといいでしょう。

〈新しい言葉を調べよう〉

1. わくわく(する)

期待が高まっている様子を表す擬態語です。

2. なんとなく

はっきりはわからないが、そう感じると言いたいときに使います。形容詞、動詞とともに使います。

3. バタバタ(する)

慌ただしく走り回る様子を表す擬音語で、「～て、バタバタする」と理由とともに使われたり、「バタバタして、(～ができない)」など、副詞としても使われます。

〈話してみよう〉

【解答】

1. ○ 2. × 3. × 4. ○ 5. ○

〈読んでみよう〉

【解答例】

1. みんなが何か食べ物を持ってくることが決まっています。
2. 教室ではゆっくり話せないからです。
3. 自分の情報が知らない人に伝わるのがいやだからです。

〈使ってみよう〉

1. ～のことなんですけど

人に声をかけるとき、用件を前置きしておくのに使われます。

【解答例】

A:あのを、チンさんの誕生日パーティーのことなんですけど、…。

B:ええ、何ですか。

2. ～ば、～なくても

提案をするとき、これまでのやり方について「～なくても」で表し、最後にその新たな提案によって可能になることを述べます。

【解答例】

スマホがあれば、出かけなくても、家でいろいろな映画が見られます。

3. ～というより

より適切な表現に言い換えるときに使います。

【解答例】

今日は暖かいというより暑い日です。

第8課 自慢の料理

〈この課で伝え合うこと〉

それぞれの国や地域のおいしい料理や家庭の料理について、作り方や食べ方を紹介し合うことをめざします。文化や宗教によって、よく食べる物や食べられない物などに話題を広げてみましょう。

〈新しい言葉を調べよう〉

1. 似る

文末では「～と／に似ている」と、いつも「～ている」をつけます。名詞の前では、「～と／に似た(人)」というように、「～た」の形になります。

2. カリッと

固くて少し歯応えがあることを表した擬音語です。「焼く／揚げる」など調理のしかたを表す動詞と使われることが多いです。

3. めったに(～ない)

「ほとんど～ない」と同じで、頻度が低いことを表します。

〈話してみよう〉

【解答】

1. × 2. ○ 3. × 4. × 5. ○

〈読んでもみよう〉

【解答例】

1. 明日のパーティーで出す料理について相談しました。
2. 野菜を食べやすい大きさに切ります。
3. しょうゆと酢とコチュジャンです。

〈使ってみよう〉

1. ～名詞(だ)

名詞を詳しくする(名詞を修飾する)文です。名詞の説明をするときに使います。

【解答例】

おせち料理は日本でお正月に食べる料理です。

2. ～と言われている

一般的に伝えられていることを説明するときに使います。

【解答例】

大阪は食の町だと言われています。

3. はじめに、～。次に、～。

手順を説明するときに使います。

【解答例】

はじめに、ふたを開けて水を入れます。次に、ふたを閉めて、15分待てば、火を使わない非常食のご飯ができます。

第9課 ふるさと大阪

〈この課で伝え合うこと〉

今住んでいる地域の場所や物や人などについて、情報を共有することをめざします。また、大阪にはいろいろな国や地域出身の人たちがともに暮らしていることを考えてみましょう。

〈新しい言葉を調べよう〉

1. そわそわ(する)

心がほかのことにとらわれていて、落ち着かない様子を表す擬態語です。「～て、そわそわする」や「そわそわして、(～ない)」などの形で使います。

2. ワイワイ

大勢の人がにぎやかに話す様子を表した擬音語です。「騒ぐ、話す」などの動詞とともに使われます。

3. うきうき(する)

心が浮いたように、楽しい気持ちになることを表す擬態語です。

〈話してみよう〉

【解答】

1. × 2. ○ 3. ○ 4. ○ 5. ×

〈読んでもみよう〉

【解答例】

1. タンさんはこれから八尾市へ行って、今晚友人たちとお正月のお祝いをするからです。
2. ベトナム料理のレストランやカラオケ、食料品や雑貨の店などがあります。
3. いろいろな所に出かけて、大阪のことをもっと知りたいと思いました。

〈使ってみよう〉

1. ～よう(な)

ほかの物やことにたとえて説明するときに使います。

【解答例】

この音楽を聞くと、まるで学生のころに戻ったような気分になります。

2. ～と言えば

「名詞+と言えば」の形で、名詞を主題化し、その言葉を聞くと、当然思い出される物事について説明します。

【解答例】

京都と言えば、神社やお寺、そして、着物のイメージですね。

3. ～たところ

「動詞『た形』+ところ」という形で、驚きや新しい発見があったきっかけを示し、その後、驚きや新しい発見について述べます。

【解答例】

駅の人に尋ねたところ、さいふの忘れ物はないとのことでした。

第10課 旅行

〈この課で伝え合うこと〉

旅行について、情報や経験を共有することをめざします。経験を話すときは、接続詞をうまく使って、時系列に出来事を整理して伝えられるようにしましょう。

〈新しい言葉を調べよう〉

1. この間

明確にいつと決まっているわけではなく、最近という意味で使います。

2. ついでに

ほかの目的のために作った時間ですが、その時間を少し使って、もう一つ別のことをすると言いたいときに使います。

3. すっかり

意味が2つあります。①「すべて、残らず」という意味で、「～てしまう」という表現とともに使われることが多いです。②「完全に」という意味で、変化した後の状態・状況を述べるのに使われます。今回は、②の意味で使っています。

〈話してみよう〉

【解答】

1. × 2. × 3. ○ 4. ○ 5. ○

〈読んでみよう〉

【解答例】

1. 旅行の計画を立てて、インターネットでおいしい食べ物やおしゃれな雑貨の店を探しました。
2. 地元の料理を出す店を教えてくださいました。
3. おすすめの場所を教えてくださいました。

〈使ってみよう〉

1. ～通り

「～と同じように(する)」という意味です。「動詞辞書形／『た形』／～ている+通り」、そして、「名詞+の通り」の形で使われます。「名詞+の通り」は、「の」を使わない「名詞+通り(例:時間通り)」という形もあります。

【解答例】

キムさんが教えてくれた通り、チヂミを作ってみました。

2. ～ても、～たら

「～ても」で目的や手段を述べ、それらはある条件（「～たら」）が整わなければ完成しないという意味を伝えます。

【解答例】

料理を作っても、一緒に食べる人がいなかったら、おいしくないです。

3. ～てほしい

ほかの人にしてもらいたいことを伝えるときに使います。

【解答例】

私は母に私の好きなお菓子を送ってほしいと頼みました。

第11課 人との付き合い

〈この課で伝え合うこと〉

人付き合いは誰にとっても多かれ少なかれストレスの原因となることがありますが、外国人にとっては、文化の問題か、言葉の問題か、何が問題で人付き合いがぎくしゃくするのか、わかりにくいと思います。微妙な問題ではありますが、周りの人との関係の持ち方や付き合い方について考えを伝え合い、理解を深めることをめざします。

〈新しい言葉を調べよう〉

1. ちゃんと

正しいやり方で何かをするという意味です。

2. うろうろ(する)

特に目的なく歩き回っている様子を表す擬態語です。「[場所]をうろうろする」の形で使われます。また、「歩く」「歩き回る」と一緒に使われます。

3. うまくいく

「[事]がうまくいく」、「[人]とうまくいく」のように、言葉の意味によって助詞の使い方が変わりますので、気をつけましょう。

〈話してみよう〉

【解答】

1. ○ 2. × 3. ○ 4. × 5. ×

〈読んでみよう〉

【解答例】

1. 大家さんや近所の人たちにいつも見られているような気がすることです。
2. 悪気はなく、ただサリムさんのことを気にかけているだけだと言っています。
3. 自分が外国人だからだろうと思っています。

〈使ってみよう〉

1. ～たまま

その状態や動作が続くことは通常ではないが、その状態や動作が続いていると言いたいときに使います。「動詞『た形』／『ない形』+まま」の形で使われます。

【解答例】

テレビをつけたまま、寝てしまいました。

2. ～ような気がする

感じていることを控えめに述べるときに使います。

【解答例】

田中さんはあしたはうまくいくような気がします。

3. ～のは～からだ

「[状況]のは[原因・理由]からだ」の形で、話し手と聞き手の間ですでに共有されている状況について、その原因・理由を説明するのに使います。

【解答例】

風邪を引いたのは、最近あまりよく寝ていないからです。

第12課 健康

〈この課で伝え合うこと〉

健康状態や体調管理、健康法について情報を共有することをめざします。また、生活習慣などについても触れる機会となればいいでしょう。

〈新しい言葉を調べよう〉

1. ずきずき(する)

頭や歯などのうずくような痛みを表すときに使います。

2. 抜く

①上に引っ張って元の場所から離す、②ほかの物より上または先に行く、秀でる、③ある物だけを取り除く、などの意味があります。ここでは、③の意味です。

3. ちよくちよく

頻度が高いことを表します。

〈話してみよう〉

【解答】

1. ○ 2. × 3. ○ 4. × 5. ○

〈読んでみよう〉

【解答例】

1. 熱が39度1分も出て、頭もずきずきして、咳と鼻水が止まりませんでした。
2. 最近残業が続いて、家に帰るのが遅い上、出勤時間が早くて、朝ご飯を抜くことも多かったからだろうと思っています。
3. 6時間以上寝て、毎朝1時間歩いて、旬の物を食べるようにしています。

〈使ってみよう〉

1. ～て初めて

「～をするまでは～たことがなかった」、「～をしていなければ、ずっとそれができなかった、わからなかった」という意味を表します。きっかけになった出来事を説明するのに使います。

【解答例】

子どもができて初めて親の大変さがわかった。

2. ～ようにしている

「簡単ではないけれども、できるだけ努力してやっている」という意味で使います。「動詞辞書形／『ない形』+ように」の形で使われます。

【解答例】

漢字を覚えるために、毎日日本語で日記を書くようにしています。

3. ～上

書くときによく使われる表現で、2つの事柄を並べて、ある傾向や特性を表します。「上」の前は、動詞の辞書形、形容詞、名詞(+の)が使われます。

【解答例】

日本語教室は日本語が学べる上、いろいろな人と友達になることができます。

第13課 お祭り

〈この課で伝え合うこと〉

伝統的で有名な祭りや地域の住民が中心になって開くイベントなど、文化的な行事について情報を共有し、その意味や意義について理解を深めることをめざします。

〈新しい言葉を調べよう〉

1. のんびり(する)

ゆっくりと穏やかに時間を過ごす様子を表します。「する、過ごす、くつろぐ、滞在する、旅する」などの動詞とともに使われます。

2. くたくた

植物がしおれてまっすぐに立ってられないように、疲れた様子を表します。そのほかに、最近の使い方として「野菜をくたくたに煮る」など、溶けるほど柔らかい状態を表すこともあります。

3. のびのび(する)

自由に振る舞う様子を表します。ほかにも、「育つ、遊ぶ、走り回る」などの動詞とともに使われます。

<話してみよう>

【解答】

1. × 2. × 3. ○ 4. ○ 5. ×

<読んでみよう>

【解答例】

1. パレードを見たり、ゲーム大会に参加したり、屋台でいろいろな物を買って食べたりしました。
2. リタさんの娘はのびのびと楽しそうに遊んでいました。
3. リタさんは友達に来年はお祭りを手伝ってほしいと頼まれました。

<使ってみよう>

1. ～として

役割や立場を表します。「として」の前は名詞です。

【解答例】

妹はこの病院で看護師として働いています。

2. ～も～ば、～も

この場合、「ば」は仮定を表すのではなく、「～も～し、～も～」と同じで物、事、人などを並べ、複数の物、事、人が存在する、または、複数の事が可能であると言いたいときに使います。「ば」とともに使われる動詞は、「ある、いる、できるなどの可能動詞、なる」など状態を表す動詞です。

【解答例】

野菜が好きな人もいれば、嫌いな人もいます。

3. ～によって

受け身の文で使われ、行為者を表します。

【解答例】

この商品はアメリカの会社によって作られています。

第14課 ボランティア活動

〈この課で伝え合うこと〉

社会の中でボランティア活動にはどんな意味があるか、ボランティア活動について考えを伝え合うことをめざします。

〈新しい言葉を調べよう〉

1. ずっしり

重い物を持ったときに感じる重みを表します。

2. ごろごろ(する)

床に物が転がっている様子を表します。または、人が暇ですることもなく、時間を持って余している様子を表します。

3. いつか

①はつきりとは言えない未来の「時」、または、②はつきりと覚えていない過去の「時」を表します。ここでは、①の意味で使っています。

〈話してみよう〉

【解答】

1. × 2. × 3. ○ 4. ○ 5. ○

〈読んでみよう〉

【解答例】

1. 定年後に近所の人に誘われて、なんとなく始めたそうです。
2. 日本に来たばかりのころ、周りの人が助けてくれたので、いつか自分もほかの人を手伝ってお返しがしたいと思ったからです。
3. ベトナムの子どもたちの勉強を手伝ったり、本を読んだりするボランティア活動を勧めました。

〈使ってみよう〉

1. ～ほど

程度を表します。程度がはなはだしい場合に起こり得る極端な状況を示して、それと同じぐらいだと言いたいときに使います。極端な状況によって引き起こされる身体的な変化や、「(忙しくて、)猫の手も借りたいほどだ」、「(土地が狭くて、)猫の額ほどしかない」などのように、慣用句が使われることも多いです。

【解答例】

家族に会いたくて、夢に見るほどです。

2. ～きっかけ

何かを始めるために、背中を押した出来事や現在の状況に至る最初の原因を表します。「きっかけ」は名詞ですから、文末も名詞か、「こと」を使いましょう。

【解答例】

絵を習い始めたきっかけは、美術館で一枚の絵を見たことです。

3. ～(さ)せてください

相手に許可を求める謙譲表現で、自分がやりたいことを申し出るときに使います。

【解答例】

体調が悪いので、今日は帰らせてください。

第15課 大人の夢

〈この課で伝え合うこと〉

子どものころの夢や大人になってからの夢や実現させたい目標などについて伝え合うことをめざします。

〈新しい言葉を調べよう〉

1. めちゃくちゃ(な)

乱雑で整理されていない様子を表したり、「とても、非常に」など形容詞や副詞を強調する言い方として使われます。

2. 気に入る

文末では「～が気に入っている」の形で使われます。また、「お気に入りの+名詞」という形もあります。特に、持ち物については「好き」より「気に入る」のほうが自然です。

3. やっと

長く時間がかかったけれども、結果として目的が果たされたことを言うときに使います。

〈話してみよう〉

【解答】

1. ○ 2. × 3. × 4. ○ 5. ×

〈読んでみよう〉

【解答例】

1. いつか大阪マラソンで完走したいと思っているからです。
2. ネパール料理の店で料理を作っています。
3. 日本の料理を食べたり、作ったりして、味の研究をしています。

〈使ってみよう〉

1. ～はず

判断するための自分なりの根拠があり、いずれ起こる事について確信を持って言うときに使います。

【解答例】

もうすぐバスが来るから、仕事には間に合うはずです。

2. ～といっても

聞き手の期待に対して、話し手がそれほどではないと否定するときに使います。

【解答例】

車を買ったといっても、古い車です。

3. ～わけにはいかない

「～ことはできない」という意味ですが、能力的に不可能ではないけれども、状況から判断して、そんなことはできない、そうするべきではないと思ったときに使います。

【解答例】

コンピュータが壊れたので、新しい物を買わないわけにはいきません。

※動詞の形【 】内は国語文法の用語

	ない形 【未然形】	辞書形 【終止形・ 連体形】	て・た形 【連用形】	ば形 【仮定形】	意向形 【未然形】	命令形 【命令形】
1グループ 【五段活用】	書かない	書く	書いて／書いた	書けば	書こう	書け
2グループ 【一段活用】	見ない 食べない	見る 食べる	見て／見た 食べて／食べた	見れば 食べれば	見よう 食べよう	見ろ 食べろ
3グループ 【変格活用】	来ない しない	来る する	来て／来た して／した	来れば すれば	来よう しよう	来い しろ

※丁寧形と普通形【 】内は国語文法の用語

	丁寧形 (「です・ます」のつく形)	普通形 (「です・ます」のつかない形)
名詞	私は学生です。 私は学生ではありません。 私は学生でした。 私は学生ではありませんでした。	私は学生だ。 私は学生ではない。 私は学生だった。 私は学生ではなかった。
な形容詞 【形容動詞】	今日は暇です。 今日は暇ではありません。 昨日は暇でした。 昨日は暇ではありませんでした。	今日は暇だ。 今日は暇ではない。 昨日は暇だった。 昨日は暇ではなかった。
い形容詞 【形容詞】	今日は忙しいです。 今日は忙しくないです。 昨日は忙しかったです。 昨日は忙しくなかったです。	今日は忙しい。 今日は忙しくない。 昨日は忙しかった。 昨日は忙しくなかった。
動詞	私は本を読みます。 私は本を読みません。 私は本を読みました。 私は本を読みませんでした。	私は本を読む。 私は本を読まない。 私は本を読んだ。 私は本を読まなかった。

索引(さくいん)

ことば 課

A~Z

PTA …… 2

SNS …… 7

あ

あいさつ(する) …… 1

あいて[相手] …… 10

アイドル …… 3

あう[遭う] …… 6

あがる[上がる](風呂から) …… 4

あじ[味] …… 15

あたりまえ[当たり前] …… 5

あつあつ …… 8

アプリ …… 7

あんしん(な)(する)[安心] …… 6

あんない(する)[案内] …… 9

いがい[~以外] …… 7

いがい(な)[意外] …… 10

いきいき …… 15

いきさき[行き先] …… 10

いけん[意見] …… 14

いそぐ[急ぐ] …… 9

いつか …… 14

イベント …… 13

イメージ …… 14

いやがる[嫌がる] …… 11

いわい[(お)祝い] …… 9

インターネット …… 10

インフルエンザ …… 12

うえ[(帰るのが遅い)上] …… 12

うきうき(する) …… 9

うそ …… 1

うちあわせ[打ち合わせ] …… 7

うまくいく …… 11

うまれそだつ[生まれ育つ] …… 9

うろうろ(する) …… 11

うんえい(する)[運営] …… 13

うんどう(する)[運動] …… 12

えいよう[栄養] …… 12

えらぶ[選ぶ] …… 4

えんりょなく[遠慮なく] …… 11

おうえん(する)[応援] …… 15

おおや[大家(さん)] …… 11

おかえし[お返し] …… 14

おかげで …… 10

おきる[起きる] …… 6

おこなう[行う] …… 7

おこのみやき[お好み焼き] …… 8

おしゃれ(な) …… 10

おすすめ …… 7

おちつく[落ち着く] …… 4

おどろく[驚く] …… 5

おりる[下りる] …… 5

か

かいぎ[会議] …… 7

かいご(する)[介護] …… 2

かいせん[海鮮] …… 8

かかり[係] …… 7

かかる(病気に) …… 12

かぐ[嗅ぐ](匂いを) …… 4

かくしゅう(する)[学習] …… 2

かける(火に) …… 8

かける(しょうゆを) …… 8

かける(迷惑を) …… 2

かじ[火事] …… 6

ガス …… 14

かた[(呼び)方] …… 1

かつどう(する) [活動] 2	グループ 7
かなう 15	けいかく(する) [計画] 10
かなえる 15	ケース 10
かなしい [悲しい] 5	けが 12
カリッと 8	けんきゅう(する) [研究] 15
かんけい(する) [関係] 11	けんこう [健康] 12
かんこう(する) [観光] 9	ご [(定年)後] 14
かんじる [感じる] 11	ゴール 15
かんせん(する) [感染] 12	ごかい(する) [誤解] 11
かんそう(する) [完走] 15	こころぼそい [心細い] 12
かんり(する) [管理] 12	ごちそう(する) 9
きかい [機会] 10	コチュジャン 8
きかく(する) [企画] 13	ことわる [断る] 11
きがする [気がする] 11	このあいだ [この間] 10
きくばり [気配り] 5	ごまあぶら [ごま油] 8
きこう [気候] 13	ごみ 11
きそくたしい [規則正しい] 12	こむぎこ [小麦粉] 8
きっかけ 14	ごろごろ(する) 14
きづく [気づく] 5		
きにいる [気に入る] 15	さ	
きにかける [気にかける] 11	さ [(大き)さ] 8
きぶん [気分] 9	サービス 5
きまる [決まる] 3	さいがい [災害] 6
きめる [決める] 4	さいしょ [最初] 1
きゃく [(お)客(さん)] 15	ざいりょう [材料] 8
ぎゃく [逆] 1	さがす [探す] 10
ぎょうじ [行事] 13	さすが 12
きょうみ [興味] 9	ざっか [雑貨] 9
きをつける [気をつける] 2	さっと 6
きんちょう(する) [緊張] 1	さびしい [寂しい] 3
きんにくつう [筋肉痛] 15	さまざま(な) [様々] 11
くずれる [崩れる] 6	さらに 7
くたくた 13	さわぐ [騒ぐ] 9
くらす [暮らす] 3	さんか(する) [参加] 2
くらべる [比べる] 9	ざんぎょう(する) [残業] 12
くりくり(する) 3	しか [~しか (~ない)] 7

しかも	…… 12	すごい	…… 5
じしん[地震]	…… 6	すすめる[勧める]	…… 2
じしん[自信]	…… 14	スタッフ	…… 13
したい[親しい]	…… 3	すっかり	…… 10
じつは[実は]	…… 3	ずっしり	…… 14
しとしと	…… 6	すてる[捨てる]	…… 11
じまん(する)[自慢]	…… 8	ストレス	…… 11
しみん[市民]	…… 13	スパイス	…… 15
じもと[地元]	…… 10	スマホ	…… 3
じゆう(な)[自由]	…… 10	せい[姓]	…… 1
しゅうかん[習慣]	…… 4	せき[席]	…… 5
ジュージュー	…… 8	せき[咳]	…… 12
しゅうちゆう(する)[集中]	…… 9	せつめい(する)[説明]	…… 1
じゅうみん[住民]	…… 13	せわ[(お)世話]	…… 14
しゅっきん(する)[出勤]	…… 12	せんたくもの[洗濯物]	…… 11
しゅん[旬]	…… 12	そう(な)[~そう(な)]	…… 9
じゅんばん[順番]	…… 1	そういえば[そう言えば]	…… 6
じゅんび(する)[準備]	…… 6	そうだ[~そうだ]	…… 6
しょうがつ[(お)正月]	…… 9	そうだん(する)[相談]	…… 2
しょうがっこう[小学校]	…… 14	そだつ[育つ]	…… 3
しょうがない	…… 11	それにしても	…… 13
しょうじょう[症状]	…… 12	そわそわ(する)	…… 9
しょうひん[商品]	…… 4		
じょうほう[情報]	…… 6	た	
ジョギング	…… 15	たい[(1)対(1)]	…… 7
しょく[食](3)	…… 12	だい[第(2)]	…… 13
しょくじ(する)[食事]	…… 12	だいたい	…… 4
しょくりょうひん[食料品]	…… 9	たいおん[体温]	…… 12
しらせ[(お)知らせ]	…… 2	たいちょう[体調]	…… 12
しんこん[新婚]	…… 3	たがい[(お)互い]	…… 15
しんじつ[真実]	…… 1	だく[抱く]	…… 6
じんじゃ[神社]	…… 13	たくはいびん[宅配便]	…… 14
す[酢]	…… 8	たしかに[確かに]	…… 5
すいみん[睡眠]	…… 12	たすかる[助かる]	…… 5
ずきずき(する)	…… 12	たずねる[尋ねる]	…… 1
すくすく	…… 3	ただ	…… 11

たてる[立てる](計画を)	…… 10	てくてく	…… 10
たとえば[例えば]	…… 10	てづくり[手作り]	…… 13
たのしみ(な)[楽しみ]	…… 3	てつづき[手続き]	…… 14
たびに[～たびに]	…… 5	てら[(お)寺]	…… 13
ため[～ため]	…… 4	でんとうてき(な)[伝統的]	…… 13
だめ(な)	…… 6	という[(真実)という(意味)]	…… 1
ためす[試す]	…… 15	といえば[～と言えば]	…… 9
たれ	…… 8	といっても[～といっても]	…… 15
ち[地](観光)	…… 9	どうし[同士](保護者)	…… 2
ちいき[地域]	…… 13	どうじに[同時に]	…… 7
チヂミ	…… 8	どうやって	…… 8
ちゃかい[(お)茶会]	…… 7	とおり[通り]	…… 4
チャット	…… 7	とおり[～通り]	…… 10
チャレンジ(する)	…… 15	とか[～とか]	…… 4
ちゃんと	…… 11	ドキドキ(する)	…… 1
ちゅうい(する)[注意]	…… 11	とくい(な)[得意]	…… 2
ちゅうがっこう[中学校]	…… 14	とくに[特に]	…… 4
ちゅうしゃ[注射]	…… 12	ところ(～た)	…… 9
ちゅうしん[中心]	…… 13	ところで	…… 9
ちよくちよく	…… 12	とのこと(だ)[～とのこと(だ)]	…… 9
つい	…… 4	どのように	…… 2
ついでに	…… 10	ドラマ	…… 3
つきあい[付き合い]	…… 11	とる(食事を)	…… 12
つきあう[付き合う]	…… 11	どんどん	…… 3
つく(一息)	…… 4		
つける(名前を)	…… 1	な	
つける(たれを)	…… 8	なおる[治る]	…… 15
つたわる[伝わる]	…… 7	ながめる[眺める]	…… 10
つづく[続く]	…… 6	なかよく[仲良く]	…… 1
つづける[続ける]	…… 14	なにげない[何気ない]	…… 10
つめる[詰める]	…… 6	なま[生]	…… 5
つらい[辛い]	…… 6	なやみ[悩み]	…… 11
であう[出会う]	…… 10	なるほど	…… 1
ていあん(する)[提案]	…… 7	なれる[慣れる]	…… 5
ていねん[定年]	…… 14	なんか	…… 4
できあがる[出来上がる]	…… 8	なんか[～なんか]	…… 8

なんて[~なんて] 2	ひといき[一息] 4
なんとなく 7	ひとばん[一晚] 6
におい[匂い] 4	ひとりたび[一人旅] 10
にがて(な)[苦手] 15	ひなん(する)[避難] 6
にこにこ(する) 1	ひょうめん[表面] 8
について[~について] 1	ピリから[ピリ辛] 8
にとって[~にとって] 3	ぶ[分](39度1) 12
にゆういん(する)[入院] 12	ふくすう[複数] 7
にゆうりよく(する)[入力] 7	ふざいひょう[不在票] 14
ニラ 8	フライパン 8
にる[似る] 8	ふらっと 4
ぬく[抜く] 12	ふるさと 9
ねつ[熱] 12	ふれあい 13
ねっしん(な)[熱心] 15	ぶんか[文化] 5
ねぶそく[寝不足] 12	ぶんべつ(する)[分別] 11
のこす[残す] 5	ぺこぺこ(する) 5
のばす[伸ばす] 8	ペラペラ 2
のびのび(する) 13	ヘルパー 2
のんびり(する) 13	ぼうっと(する) 4
		ほうほう[方法] 12
は		ボウル 8
ばあい[~場合] 6	ほごしゃ[保護者] 2
はえる[生える] 3	ほす[干す] 11
ばかり(~た) 3	ほっと(する) 4
はかる[測る] 12	ホットプレート 8
はじめに 8	ほど[~ほど] 14
はじめる[始める] 14	ほら 13
はしりまわる[走り回る] 13		
はず[~はず] 15	ま	
バタバタ(する) 7	まず 7
はなび[花火] 13	まぜる[混ぜる] 8
はなれる[離れる] 3	まつり[(お)祭り] 13
びじゅつかん[美術館] 10	まま(~た) 11
ひじょうしょく[非常食] 6	まよう[迷う](道に) 10
ひつよう(な)[必要] 6	マラソン 15
ビデオ 7	まるで 9

みたい(な)[~みない(な)] 3	ようす[様子] 9
みつける[見つける] 10	ように[~ように] 6
むりょう[無料] 7	ようになる[~ようになる] 2
め[目](大変な) 6	よしん[余震] 6
めい[名] 1	よちよち 3
めいわく(な)(する)[迷惑] 2	よなか[夜中] 9
メール 7	よぼうせっしゅ[予防接種] 12
めざす 15	よみきかせる[読み聞かせる] 14
めずらしい[珍しい] 12	よる[寄る] 4
めちやくちや(な) 15	よろこぶ[喜ぶ] 13
メッセージ 7		
めったに(~ない) 8	ら	
めんだん(する)[面談] 2	らしい(日本) 5
めんどう(な)[面倒] 11	リフレッシュ(する) 10
メンバー 7	りゆう[理由] 11
もえる[燃える] 11	りよかん[旅館] 5
もくひょう[目標] 15	ルーツ 14
もちだす[持ち出す] 6	れんきゅう[連休](3) 10
もちろん 10	れんらく(する)[連絡] 3
もんく[文句] 10		
		わ	
や		ワイワイ 9
やくそく(する)[約束] 15	わくわく(する) 7
やすい(食べ) 8	わけではない[~わけではない] 4
やたい[屋台] 13	わけにはいかない[~わけにはいかない] 15
やっと 15		
やっぱり 5	わらう[笑う] 3
やりがい 14	わるぎ[悪気] 11
やりとり(する)[やり取り] 7		
やる(食べ物を) 11		
ゆうじん[友人] 9		
ゆずる[譲る] 5		
ゆでる 5		
ゆれる[揺れる] 6		
よう[用](避難) 6		
よう(な)[~よう(な)] 9		

ちいき まな にほんご がくしゅうきょうざい
地域で学ぶ 日本語学習教材
はな か つた あ わたし
話して 書いて 伝え合う 私のこと・あなたのこと

令和3年3月発行

教材作成：大阪 YMCA 日本語教育センター

・執筆者(50音順)

上村 直美 大阪 YMCA 国際専門学校 日本語学科 教員
蔭山 育子 大阪 YMCA 国際専門学校 日本語学科 教員
亀田 美保 大阪 YMCA 日本語教育センター センター長
竹内 康恵 大阪 YMCA 学院 日本語学科 教員
野口 亮子 大阪 YMCA 国際専門学校 日本語学科 教員
東内 真弓 大阪 YMCA 国際専門学校 日本語学科 教員

・イラスト

黄 琬萱 イラストレーター 大阪 YMCA 国際専門学校卒業生

発行：大阪府教育庁 市町村教育室 地域教育振興課

〒540-8570 大阪府中央区大手前2丁目

TEL 06-6941-0351 (大代表)

・本教材は、令和2年度文化庁「生活者としての外国人」のための日本語教育事業により作成されました。